

2017年5月12日

Nissan Chemical,
-where unique & solution meet

2017年3月期 決算説明会



NISSAN CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

2016実績

	2015			2016			増減			増減率	2016予想 (2016/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計	上実績	下	計
売上高	837	932	1,769	845	958	過去最高 1,803	+8	+26	+34	+2%	845	960	1,805
営業利益	143	143	286	147	167	過去最高 314	+4	+24	+28	+10%	147	152	299
営業外損益	8	1	9	-5	8	3	-13	+7	-6	-	-5	3	-2
経常利益	151	144	295	142	175	過去最高 317	-9	+31	+22	+7%	142	155	297
特別損益(1)	0	-12	-12	0	0	0	+0	+12	+12	-	0	0	0
純利益(2)	111	113	224	106	134	過去最高 240	-5	+21	+16	+7%	106	119	225
EBITDA(3)	187	196	383	188	215	403	+1	+19	+20	+5%	188	208	396
EPS(円/株)	71.21	72.16	143.37	69.00	87.97	156.97	-2.21	+15.81	+13.60	+9%	69.00	77.88	146.88
配当(円/株)	18	26	44	24	28	52	+6	+2	+8		24	26	50
配当総額	28	40	68	37	42	79	+9	+2	+11		37	39	76
売上高営業利益率	17.0%	15.4%	16.2%	17.4%	17.4%	17.4%	+0.4%	+2.0%	+1.2%		17.4%	15.8%	16.6%
ROE	-	-	14.6%	-	-	15.1%	-	-	+0.5%		-	-	14.2%
為替レート(円/ドル)	122	118		105	112						105	105	
ナフサ(円/kl)(4)	48,000	37,700		31,400	38,200						31,400	34,400	
包括利益	96	119	215	74	164	238					74		

(1) 2015実績: 投資有価証券売却益+30億円、TMAT減損-39億円、日本アンモニアターミナル損失引当金-3億円

(2) 純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を指す

(3) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (4) 実績は財務省貿易統計ベース

*TMAT(連結子会社) = Thin Materials社、当社100%子会社(ドイツ)、半導体3次元実装材料の開発

**日本アンモニアターミナル(関連会社) = 住友化学40%、昭和電工30%、当社30%出資の合弁会社 アンモニア受入、保管、払出

2016下実績

<前年比>

(売上高)	◆増収	+26億円 (+2.7%)
(営業利益)	◆増益	+24億円 (+16.5%)
(営業外損益)	◆増益	+7億円
(経常利益)	◆増益	+31億円 (+21.5%)
(特別損益)	◆増益	+12億円
(純利益)	◆増益	+21億円 (+19.9%)
(EPS)	◆増加	+15.81円 (+21.9%)

(増収)	化学、機能性材料、農業化学
(減収)	医薬、卸売
(増益)	機能性材料、農業化学
(横ばい)	化学、卸売
(減益)	医薬

(2015下)

投資有価証券売却益+30億円、TMAT*減損-39億円、
日本アンモニアターミナル**損失引当金-3億円

<2016/11業績予想比>

(売上高)	◆減収	-2億円
(営業利益)	◆増益	+15億円
(営業外損益)	◆増益	+5億円
(経常利益)	◆増益	+20億円
(純利益)	◆増益	+15億円
(EPS)	◆増加	+10.09円

(上ぶれ)	化学、機能性材料、医薬
(下ぶれ)	農業化学、卸売

(上ぶれ)	化学、機能性材料、農業化学、医薬
(下ぶれ)	卸売

2016実績

<前年比>

(売上高)	◆増収 +34億円 (+1.9%)	(増収) (減収)	化学、機能性材料、農業化学 医薬、卸売
(営業利益)	◆増益 +28億円 (+9.9%)	(増益) (減益)	機能性材料、農業化学 化学、医薬、卸売
	◆売上高営業利益率 17.4%		
	2003年より14年連続10%以上維持		
(営業外損益)	◆減益 -6億円		
(経常利益)	◆増益 +22億円 (+7.4%)		
(特別損益)	◆増益 +12億円		
(純利益)	◆増益 +16億円 (+7.5%)		
(EPS)	◆増加 +13.60円 (+9.5%)		
(ROE)	◆15.1%(2015年14.6%)		

営業利益・経常利益は3年連続、当期純利益は4年連続 過去最高益を更新

<株主還元>

- ◆ 配当 中間24円、期末28円、計52円、配当性向33.1%
(前年比:8円増配、配当性向+2.4%、2016/11業績予想比:期末2円増配)
- ◆ 自己株式 90億円、2.6百万株取得(2016年5月1百万株、8月1百万株、2017年5月2百万株消却済み)
- ◆ 総還元性向 70.4% (中計目標 70%維持)

2016実績 営業外損益・特別損益・包括利益

(億円)

	2015	2016	増減
営業外収益	24.8	22.5	-2.3
受取利息・配当金	6.0	7.5	+1.5
持分法投資損益	8.6	7.0	-1.6
為替差益	0.0	0.0	+0.0
その他	10.2	8.0	-2.2
営業外費用	15.6	19.8	+4.2
支払利息	1.9	1.6	-0.3
固定資産処分損	3.2	6.0	+2.8
為替差損	1.7	3.1	+1.4
その他	8.8	9.1	+0.3
特別利益	30.8	0.0	-30.8
特別損失	42.5	0.0	-42.5
包括利益	215.1	237.7	+22.6
純利益	223.5	240.3	+16.8
非支配株主損益	2.1	1.6	-0.5
その他有価証券評価差額金	-1.6	-4.4	-2.8
為替換算調整勘定	-8.0	1.9	+9.9
退職給付に係る調整額	-0.9	-1.7	-0.8

2016 キャッシュフロー

(億円)

	2015			2016			増減			2016予想 (2016/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	上実	下	計
営業キャッシュ・フロー	276	24	300	294	31	325	18	7	25	294	20	314
税金等調整前純利益	151	133	284	142	175	317	-9	42	33	142	155	297
投資有価証券売却損益	0	-30	-30	0	0	0	0	30	30	0	-2	-2
減損損失	0	39	39	0	2	2	0	-37	-37	0	0	0
関係会社事業損失引当金	0	3	3	0	0	0	0	-3	-3	0	0	0
減価償却費	44	53	97	41	48	89	-3	-5	-8	41	56	97
法人税等の支払	-40	-34	-74	-49	-41	-90	-9	-7	-16	-49	-40	-89
運転資金増減他	121	-140	-19	160	-153	7	39	-13	26	160	-149	11
投資キャッシュ・フロー	-47	-37	-84	-45	-86	-131	2	-49	-47	-45	-121	-166
設備投資	-43	-48	-91	-53	-71	-124	-10	-23	-33	-53	-123	-176
投資有価証券購入・売却・償還	1	18	19	0	22	22	-1	4	3	0	27	27
その他	-5	-7	-12	8	-37	-29	13	-30	-17	8	-25	-17
財務キャッシュ・フロー	-273	100	-173	-266	75	-191	7	-25	-18	-266	118	-148
配当	-35	-28	-63	-40	-37	-77	-5	-9	-14	-40	-37	-77
借入金増減額	-177	158	-19	-175	152	-23	2	-6	-4	-175	155	-20
自己株取得	-60	-30	-90	-50	-40	-90	10	-10	0	-50	0	-50
その他	-1	0	-1	-1	0	-1	0	0	0	-1	0	-1
現金及び現金同等物に係る換算差額	-2	-1	-3	-3	4	1	-1	5	4	-3	3	0
現金及び現金同等物の増減額	-46	86	40	-20	24	4	26	-62	-36	-20	20	0
現金及び現金同等物の残高	269	353		333	357		64	4		333	353	

2016貸借対照表

(億円)

	2016/3	2017/3	増減
流動資産	1,422	1,405	-17
現金預金	353	357	+4
売上債権	576	601	+25
たな卸資産	385	364	-21
その他	108	83	-25
固定資産	860	912	+52
有形固定資産	475	520	+45
無形固定資産	9	16	+7
投資有価証券	333	325	-8
その他	43	51	+8
資産合計	2,282	2,317	+35

	2016/3	2017/3	増減
負債	713	680	-33
買入債務	154	149	-5
借入金	331	308	-23
その他	228	223	-5
純資産	1,569	1,637	+68
株主資本	1,442	1,513	+71
その他有価証券 評価差額金	105	101	-4
為替換算 調整勘定	2	2	+0
非支配株主持分	15	17	+2
退職給付に係る 調整累計額	5	4	-1
負債・純資産合計	2,282	2,317	+35

自己資本比率 68.1% 69.9%

D/Eレシオ (1) -1.6% -3.2%

株主資本等増減 +68 = 純利益240 - 配当その他172

(1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

2017予想

(億円)

	2016実績				2017予想				増減			増減率	
	上	(1Q)	下	計	上	(1Q)	下	計	上	(1Q)	下	計	計
売上高	845	451	958	1,803	877	452	1,013	過去最高 1,890	+32	+1	+55	+87	+5%
営業利益	147	95	167	314	150	81	175	過去最高 325	+3	-14	+8	+11	+3%
営業外損益	-5	-1	8	3	1	5	7	8	+6	+6	-1	+5	-
経常利益	142	94	175	317	151	86	182	過去最高 333	+9	-8	+7	+16	+5%
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	0	+0	+0	+0	+0	-
純利益	106	68	134	240	115	65	137	過去最高 252	+9	-3	+3	+12	+5%
EBITDA (1)	188	115	215	403	199	-	237	436	+11	-	+22	+33	+8%
EPS (円/株) (2)	69.00	44.31	87.97	156.97	76.36	-	91.18	167.54	+7.36	-	+3.21	+10.57	+7%
配当 (円/株)	24	-	28	52	28	-	32	60	+4	-	+4	+8	
配当総額 (2)	37	-	42	79	42	-	48	90	+5	-	+6	+11	
売上高営業利益率	17.4%	21.1%	17.4%	17.4%	17.1%	17.9%	17.3%	17.2%	-0.3%	-3.2%	-0.1%	-0.2%	
ROE (2)	-	-	-	15.1%	-	-	-	15.0%	-	-	-	-0.1%	
為替レート (円/ドル)	105	108	112		110	110	110						
ナフサ (円/kl)	31,400	-	38,200		40,700	-	40,700						
包括利益	74	49	164	238									

(1) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(2) 2017予想は、自己株取得(2017年5月発表)50億円の影響を含む

2017予想

＜前年比＞	(売上高)	◆増収 +87億円 (+4.8%)	(増収) 化学、機能性材料、農業化学、卸売 (減収) 医薬
	(営業利益)	◆増益 +11億円 (+3.4%)	(増益) 農業化学、卸売 (減益) 化学、機能性材料、医薬
	(営業外損益)	◆増益 +5億円	
	(経常利益)	◆増益 +16億円 (+5.0%)	
	(純利益)	◆増益 +12億円 (+4.9%)	
	(EPS)	◆増加 +10.57円 (+6.7%)	
	(ROE)	◆15.0%(2016年15.1%)	

売上高・営業利益・経常利益・純利益は16年度の過去最高を更新

＜株主還元＞

- ◆ 配当 中間28円、期末32円、計60円、配当性向35.8%(前年比:8円増配、配当性向+2.7%)
- ◆ 自己株式 50億円、1.7百万株取得予定(2017年5月12日発表)
- ◆ 総還元性向 55.4%(中計目標 70%維持)

2017 1Q予想・2017上予想

<1Q前年比>	(売上高)	◆増収	+1億円 (+0.3%)	(増収) 機能性材料、卸売 (減収) 化学、農業化学、医薬
	(営業利益)	◆減益	-14億円 (-14.8%)	(増益) 機能性材料 (減益) 化学、農業化学、医薬、卸売
	(営業外損益)	◆増益	+6億円	
	(経常利益)	◆減益	-8億円 (-8.1%)	
	(純利益)	◆減益	-3億円 (-4.8%)	
<上期前年比>	(売上高)	◆増収	+32億円 (+3.8%)	(増収) 化学、機能性材料、農業化学、卸売 (減収) 医薬
	(営業利益)	◆増益	+3億円 (+1.8%)	(増益) 化学、機能性材料、農業化学、卸売 (減益) 医薬
	(営業外損益)	◆増益	+6億円	
	(経常利益)	◆増益	+9億円 (+6.2%)	
	(純利益)	◆増益	+9億円 (+8.5%)	

2017予想 営業外損益・特別損益・包括利益

(億円)

	2016実績	2017予想	増減
営業外収益	22.5	19.4	-3.1
受取利息・配当金	7.5	6.2	-1.3
持分法投資損益	7.0	7.6	+0.6
為替差益	0.0	0.0	+0.0
その他	8.0	5.6	-2.4
営業外費用	19.8	11.2	-8.6
支払利息	1.6	1.3	-0.3
固定資産処分損	6.0	5.4	-0.6
為替差損	3.1	0.0	-3.1
その他	9.1	4.5	-4.6
特別利益	0.0	0.0	0.0
特別損失	0.0	0.0	0.0
包括利益	237.7	-	-
純利益	240.3	-	-
非支配株主損益	1.6	-	-
その他有価証券評価差額金	-4.4	-	-
為替換算調整勘定	1.9	-	-
退職給付に係る調整額	-1.7	-	-

2017キャッシュフロー予想

(億円)

	2016実績	2017予想
営業キャッシュ・フロー	325	366
税金等調整前当期純利益	317	333
減損損失	2	0
減価償却費	89	111
法人税等の支払	-90	-61
運転資金増減他	7	-17
投資キャッシュ・フロー	-131	-177
設備投資	-124	-171
投資有価証券購入・売却	22	0
その他	-29	-6
財務キャッシュ・フロー	-191	-156
配当	-77	-85
借入金増減額	-23	-21
自己株取得	-90	-50
その他	-1	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	0
現金及び現金同等物の増減額	4	33
現金及び現金同等物の残高	357	390

2016 セグメント別売上高(1)

(億円)

	2015			2016			増減			増減率	2016予想 (2016/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計	上実績	下	計
化学	167	176	343	165	183	348	-2	+7	+5	+1%	165	176	341
ファイン	55	51	106	53	54	107	-2	+3	+1	+0%	53	50	103
基礎	112	125	237	112	129	241	+0	+4	+4	+2%	112	126	238
機能性	260	258	518	255	273	528	-5	+15	+10	+2%	255	270	525
農業化学	211	264	475	240	280	520	+29	+16	+45	+9%	240	282	522
医薬	37	50	87	37	43	80	+0	-7	-7	-8%	37	39	76
卸売	275	281	556	276	276	552	+1	-5	-4	-1%	276	306	582
その他	89	120	209	86	154	240	-3	+34	+31	+15%	86	148	234
調整額	-202	-217	-419	-214	-251	-465	-12	-34	-46	-	-214	-261	-475
合計	837	932	1,769	845	958	1,803	+8	+26	+34	+2%	845	960	1,805

(1)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

2016 セグメント別営業利益

(億円)

	2015			2016			増減			増減率
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計
化学	14	25	39	13	25	38	-1	+0	-1	-3%
機能性	63	57	120	62	63	125	-1	+6	+5	+4%
農業化学	62	46	108	69	63	132	+7	+17	+24	+22%
医薬	6	14	20	6	11	17	+0	-3	-3	-17%
卸売	9	9	18	8	9	17	-1	+0	-1	-6%
その他	0	5	5	0	10	10	+0	+5	+5	+103%
調整額	-11	-13	-24	-11	-14	-25	+0	-1	-1	-
合計	143	143	286	147	167	314	+4	+24	+28	+10%

2016予想 (2016/11発表)		
上実績	下	計
13	24	37
62	55	117
69	59	128
6	8	14
8	11	19
0	7	7
-11	-12	-23
147	152	299

2017予想 セグメント別売上高(1)

(億円)

	2016実績			2017予想			増減			増減率			
	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	計			
化学	165	85	183	348	171	84	184	355	+6	-1	+1	+7	+2%
ファイン	53	28	54	107	53	26	51	104	+0	-2	-3	-3	-2%
基礎	112	57	129	241	118	58	133	251	+6	+1	+4	+10	+4%
機能性	255	126	273	528	279	138	297	576	+24	+12	+24	+48	+9%
農業化学	240	145	280	520	249	135	314	563	+9	-10	+34	+43	+8%
医薬	37	22	43	80	30	15	39	69	-7	-7	-4	-11	-14%
卸売	276	144	276	552	295	152	320	615	+19	+8	+44	+63	+11%
その他	86	40	154	240	92	47	125	217	+6	+7	-29	-23	-10%
調整額	-214	-111	-251	-465	-239	-119	-266	-505	-25	-8	-15	-40	-
合計	845	451	958	1,803	877	452	1,013	1,890	+32	+1	+55	+87	+5%

(1)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

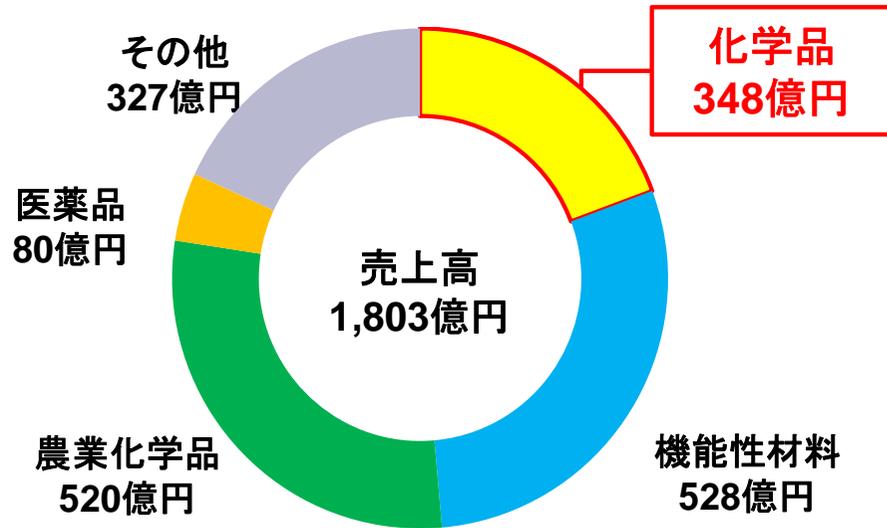
2017予想 セグメント別営業利益

(億円)

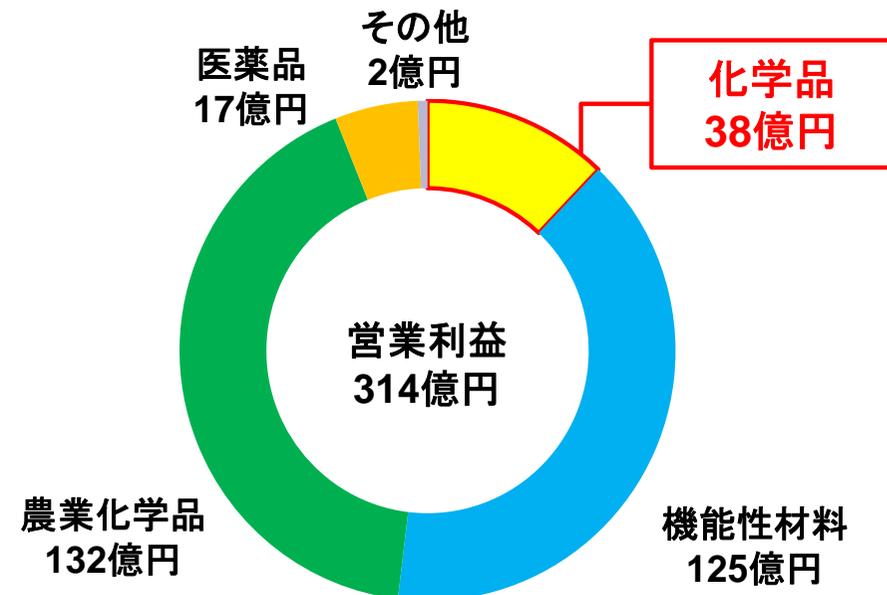
	2016実績			2017予想			増減			増減率			
	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	計			
化学	13	15	25	38	15	14	21	36	+2	-1	-4	-2	-6%
機能性	62	30	63	125	63	32	60	123	+1	+2	-3	-2	-2%
農業化学	69	45	63	132	76	38	80	156	+7	-7	+17	+24	+18%
医薬	6	6	11	17	1	1	8	9	-5	-5	-3	-8	-46%
卸売	8	4	9	17	9	4	11	20	+1	+0	+2	+3	+18%
その他	0	0	10	10	-1	-1	6	5	-1	-1	-4	-5	-48%
調整額	-11	-5	-14	-25	-13	-7	-11	-24	-2	-2	+3	+1	-
合計	147	95	167	314	150	81	175	325	+3	-14	+8	+11	+3%

化学品セグメント概況- (A) 業績

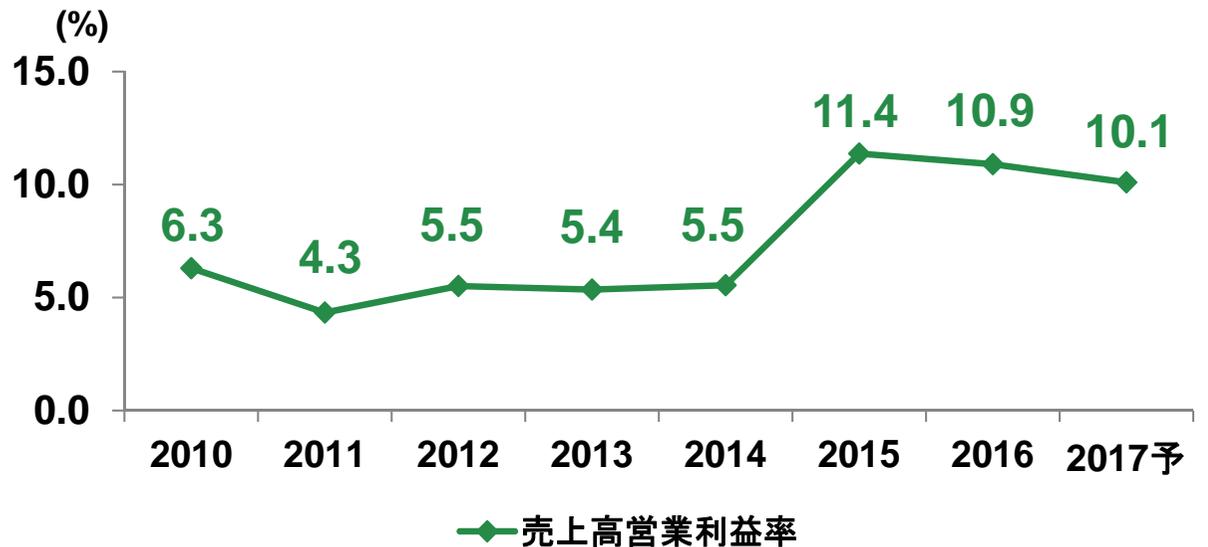
1. 2016年度 売上高構成



2. 2016年度 営業利益構成



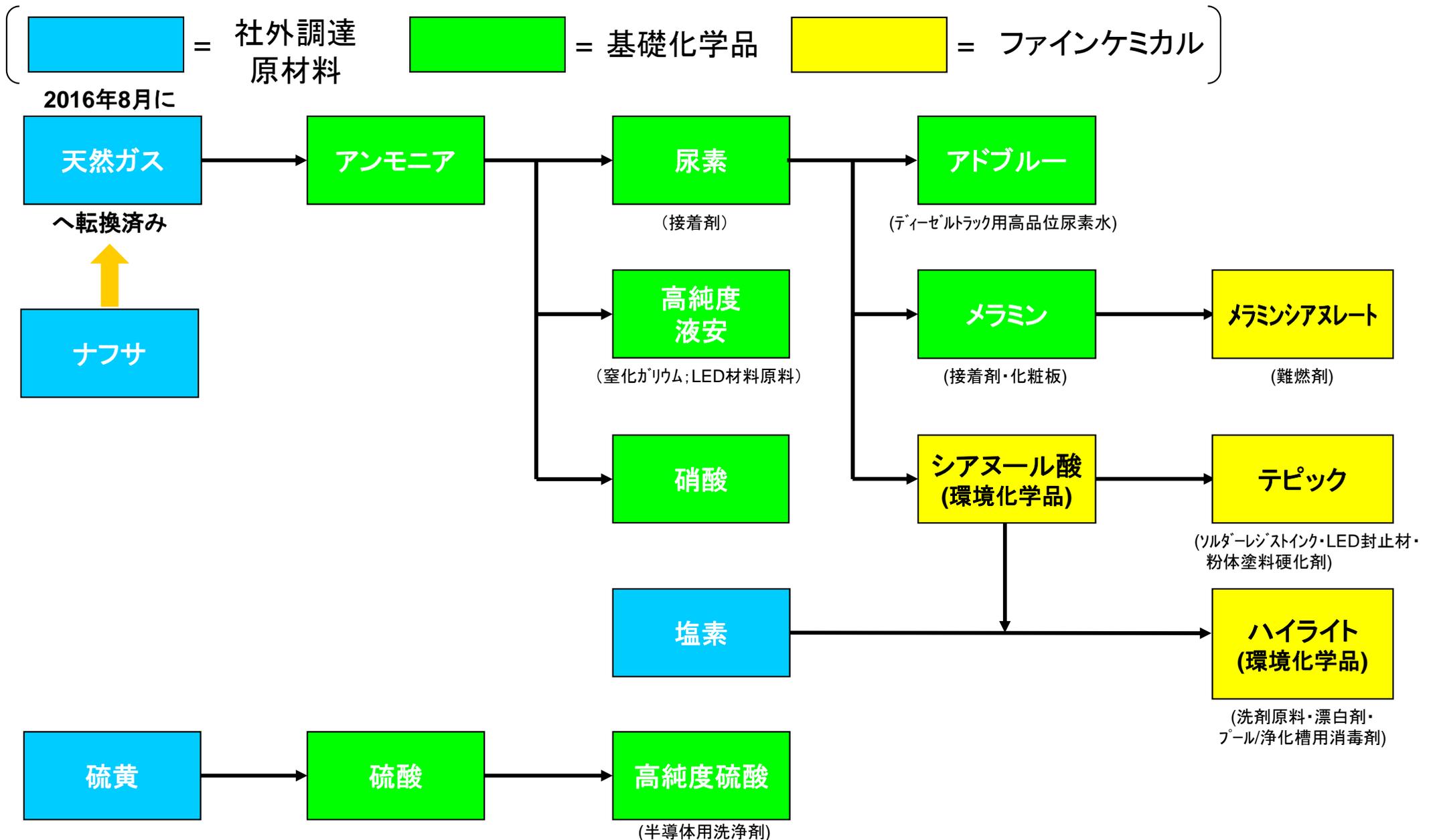
3. 化学品業績推移



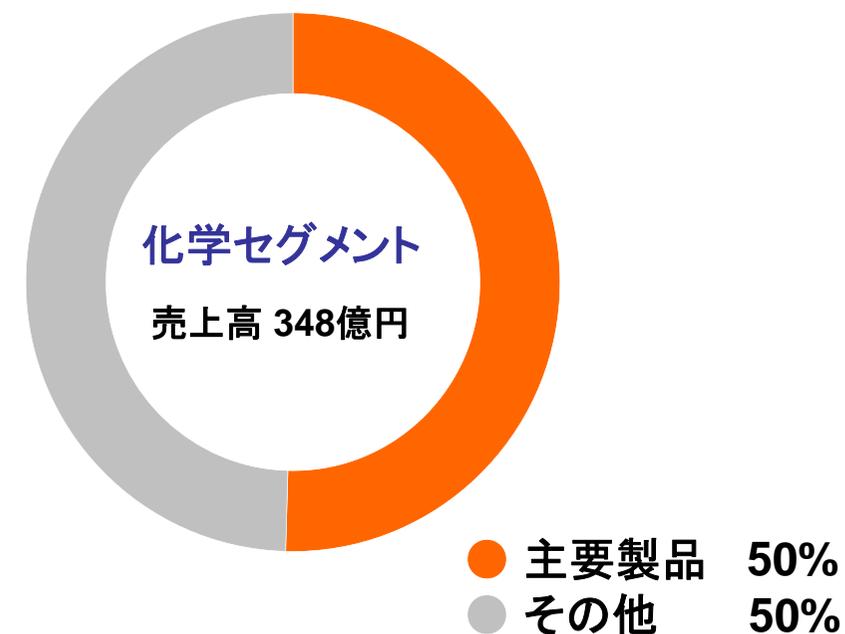
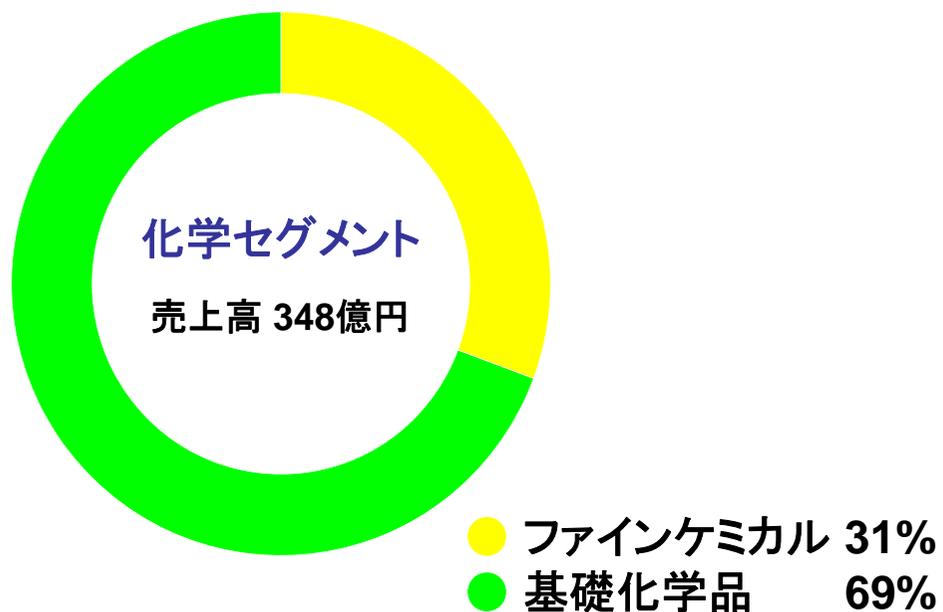
化学品セグメント概況－(B) 主要製品製造フロー

◆基礎化学品主要製品：アンモニア系製品と硫酸系製品

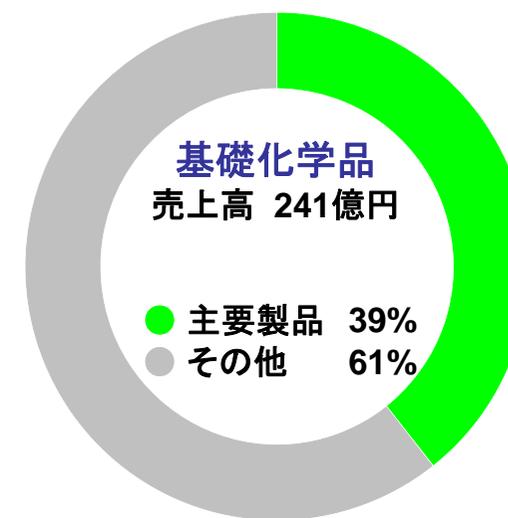
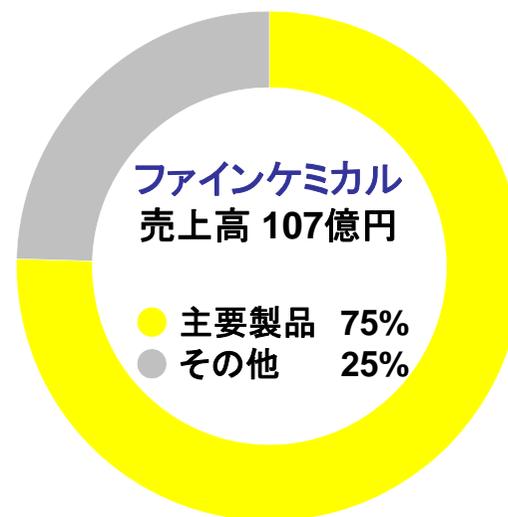
◆2016年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上



化学品セグメント概況 – (C) 2016年度売上構成



<サブセグメント>

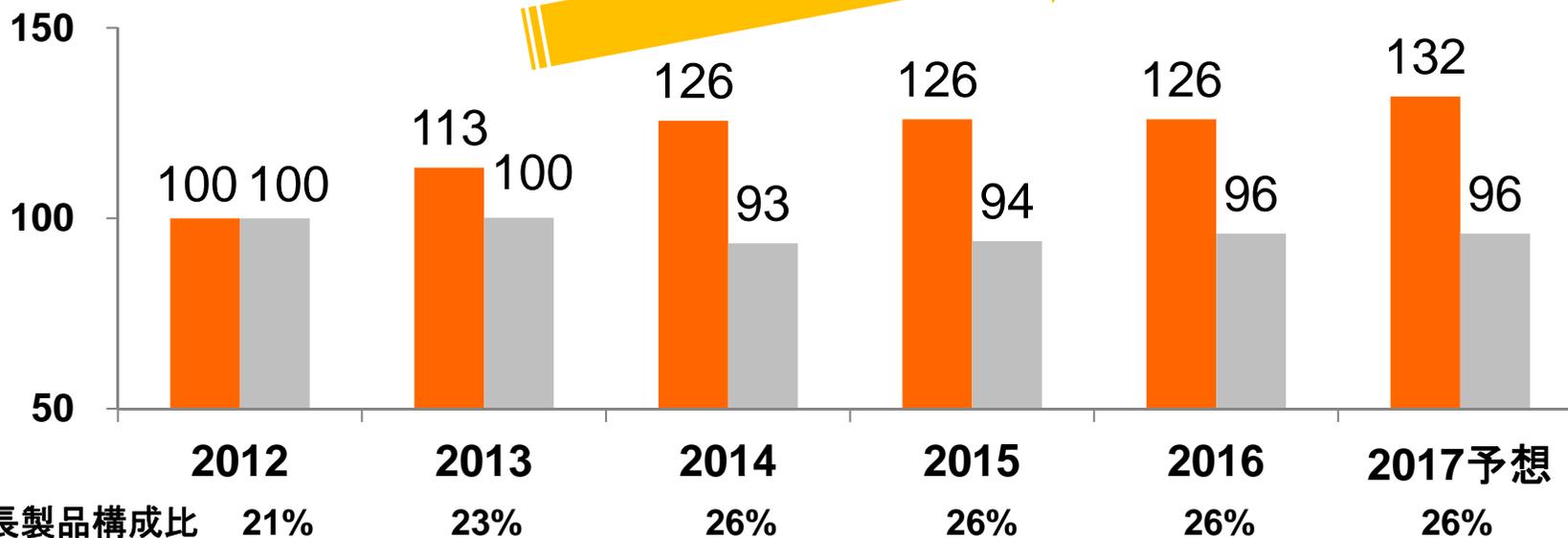


<主要製品>

- ファインケミカル
- 基礎化学品
- テピック
- メラミン
- 環境化学品
- 高純度硫酸
- 尿素・アトフルー

化学品セグメント概況- (D) 成長製品

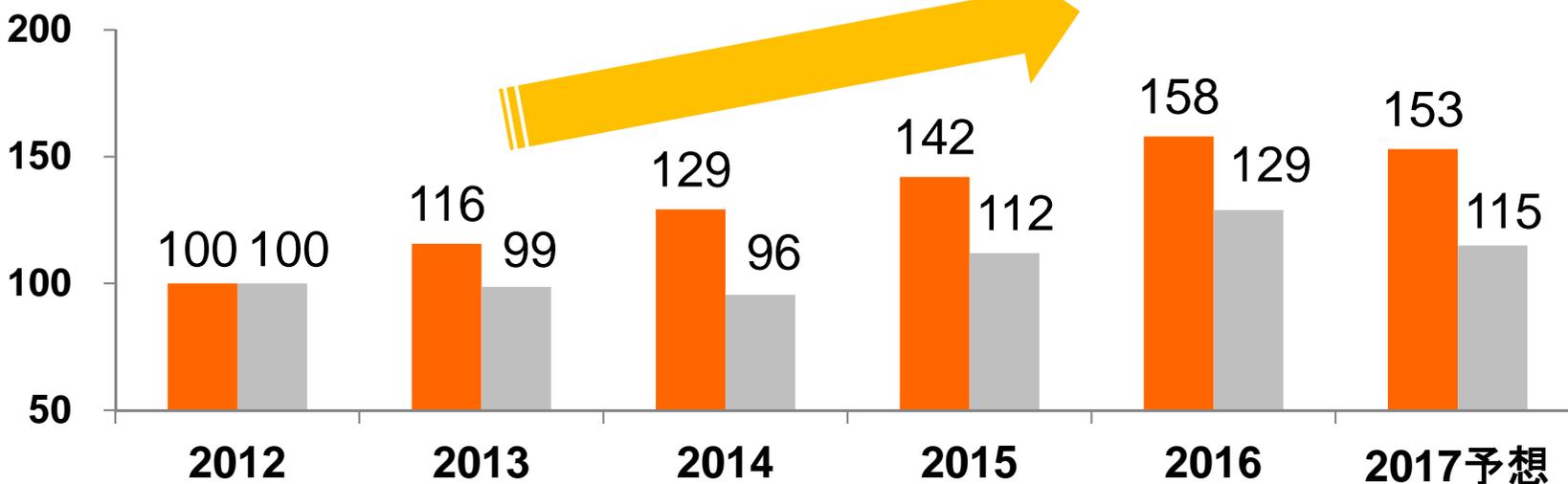
◆売上高 (2012年度=100)



成長製品
 テピック
 ファインオキソ
 アドブルー
 高純度液安
 メラミンシアヌレート
 など

成熟製品
 メラミン
 アンモニア
 尿素
 硝酸
 など

◆限界利益(1) (2012年度=100)



(1)限界利益: 売上高 - 変動原価

化学品セグメント概況－(E-1) 構造改善の現況

◆設備能力の推移 (2012年度能力=100)

		2012	2013	2014	2015	2016	2017予	
成長 製品	テピック	100	→			120		} 増強
	アドブルー [製造拠点数(1)]	100 [2]	→		150 [4]	→	160 [5]	
	高純度液安	100	→		250			
成熟 製品	アンモニア	100	→			80		} 削減
	硝酸	100	→	80	→			

(1) 製造委託先を含む

◆実施済み富山工場アンモニア系コスト削減

工事費： 5.0億円

メリット： 2～3億円/年

工事内容： ユーティリティ効率化、少人化

◆アンモニア原料転換プロジェクト

次ページ(E-2)参照

化学品セグメント概況－(E-2)アンモニア原料転換プロジェクト

◆プロジェクト:

富山工場で生産しているアンモニアの原料をナフサから天然ガスに転換

◆目的:

ナフサに比べて価格変動幅が小さい天然ガスを原料とすることで、アンモニアをはじめ、尿素、メラミン、硝酸など各種誘導品の収益安定化を図る

◆工事金額:

10.9億円

◆工事完了時期:

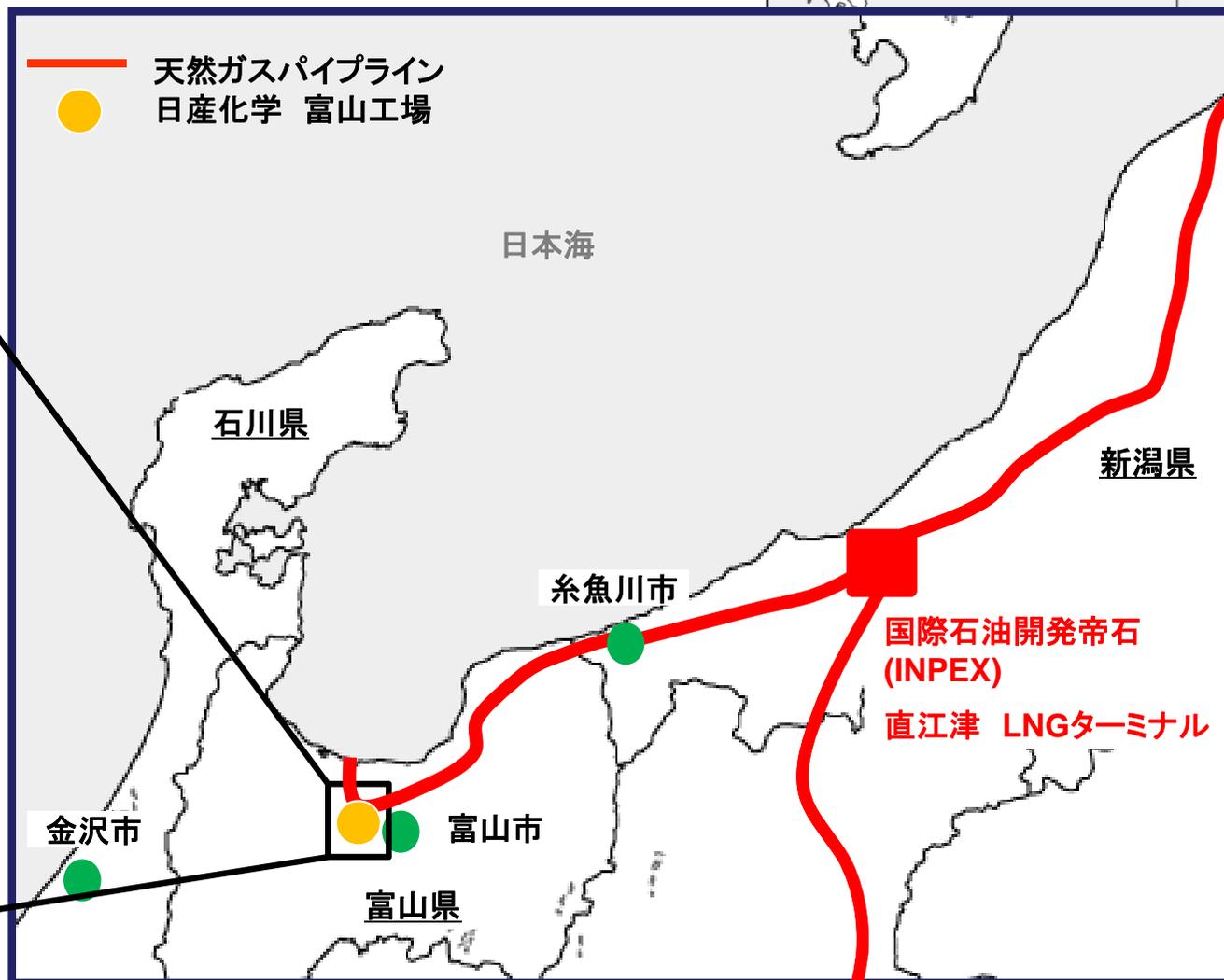
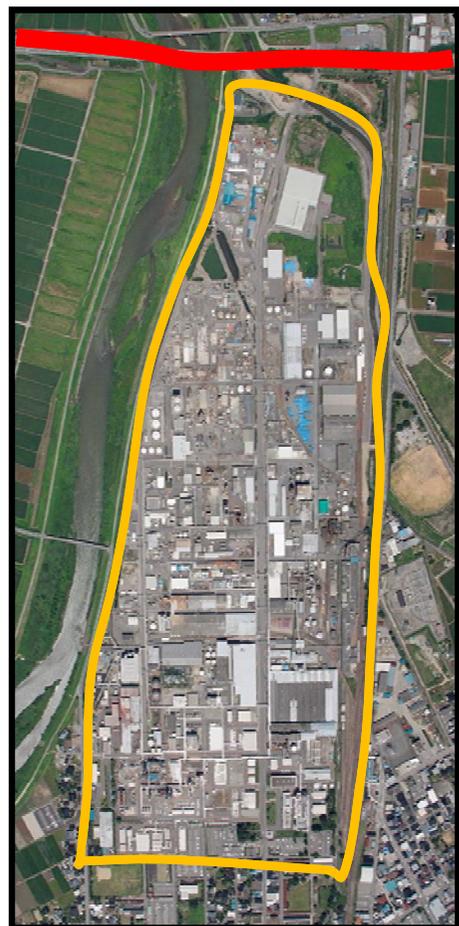
2016年8月(予定通り完工済)

◆特別損失の計上:

ナフサのパイプラインは、工事完了後不要となるため撤去することとし、2015年3月期第3四半期において、その概算費用704百万円を特別損失に計上済み

化学品セグメント概況ー (E-3)アンモニア原料転換プロジェクト

— 天然ガスパイプライン
— 日産化学 富山工場



化学品セグメント概況－(F) ファインケミカル

2016売上高実績

<上期前年比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け輸出減収(円高、中国安価品)、電材向け増収
国内スポット増収、輸出減収

<下期前年比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け輸出増収(中国環境規制)、電材向け増収
国内増収、輸出増収

<下期2016/11業績予想比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け上ぶれ、電材向け上ぶれ
国内上ぶれ、輸出上ぶれ

2017売上高予想

<年間前年比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け増収、電材向け増収
国内減収(スポット剥落)、輸出増収

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2016予想 (2016/11 発表)			2016実績			2017予想		
		上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
全般		-3%	-3%	-3%	-3%	+4%	+0%	-0%	-5%	-3%
テピック	◆(用途) 電材向け(ソルダ-レジストインキ、LED周辺材料) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	-9%	+2%	-4%	-9%	+19%	+5%	+19%	-10%	+2%
環境 化学品	◆(ハイライト用途) 塩素化イソシアヌル酸を主原料とし、プール、浄化槽等の 殺菌、消毒に使用	+2%	+5%	+3%	+2%	+8%	+4%	-3%	+2%	-0%

上記2製品グループの2016年度実績連結ファインケミカル売上高に占める割合:75%

化学品セグメント概況－(G) 基礎化学品

2016売上高実績

<上期前年比>

- ◆メラミン 国内減収、輸出増収(欧米中心)
- ◆尿素・アドブルー 尿素横ばい、アドブルー拡販増収
- ◆高純度硫酸 横ばい

<下期前年比>

- ◆メラミン 国内増収、輸出増収(中国環境規制)
- ◆尿素・アドブルー 尿素減収(中国安価品、メラミン生産ヘシフト)、アドブルー増収
- ◆高純度硫酸 半導体向け拡販増収

<下期2016/11業績予想比>

- ◆メラミン 国内上ぶれ、輸出上ぶれ
- ◆尿素・アドブルー 尿素下ぶれ、アドブルー下ぶれ
- ◆高純度硫酸 半導体向け上ぶれ

2017売上高予想

<年間前年比>

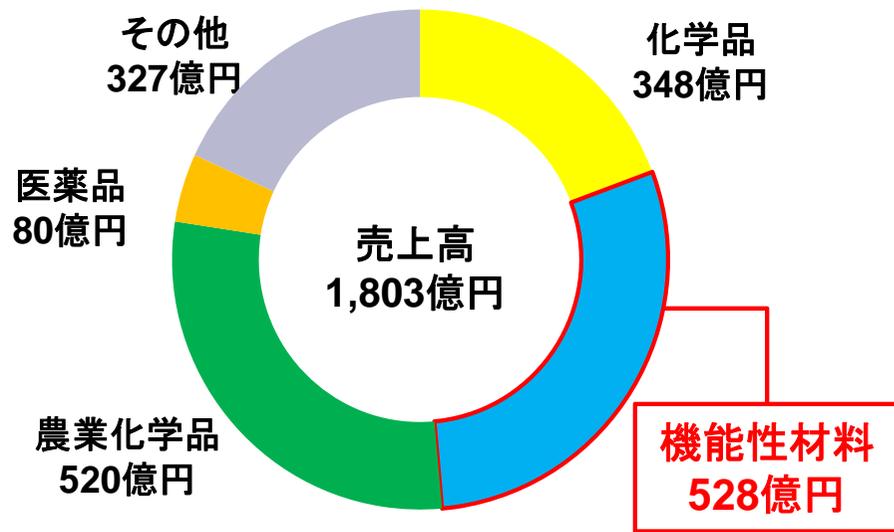
- ◆メラミン 国内増収、輸出増収(中国環境規制)
- ◆尿素・アドブルー 尿素減収(中国安価品、メラミン生産ヘシフト)、アドブルー増収
- ◆高純度硫酸 半導体向け拡販増収

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2016予想 (2016/11 発表)			2016実績			2017予想		
		上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
全般		-0%	+1%	+0%	-0%	+3%	+2%	+5%	+3%	+4%
メラミン	◆(用途)接着剤、化粧板	+1%	-7%	-3%	+1%	+11%	+6%	+10%	+8%	+9%
尿素 アドブルー	◆(用途)接着剤、ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	+2%	+1%	+1%	+2%	-9%	-4%	+3%	+5%	+4%
高純度 硫酸	◆(用途)半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	-1%	+4%	+2%	-1%	+9%	+4%	+13%	+1%	+7%

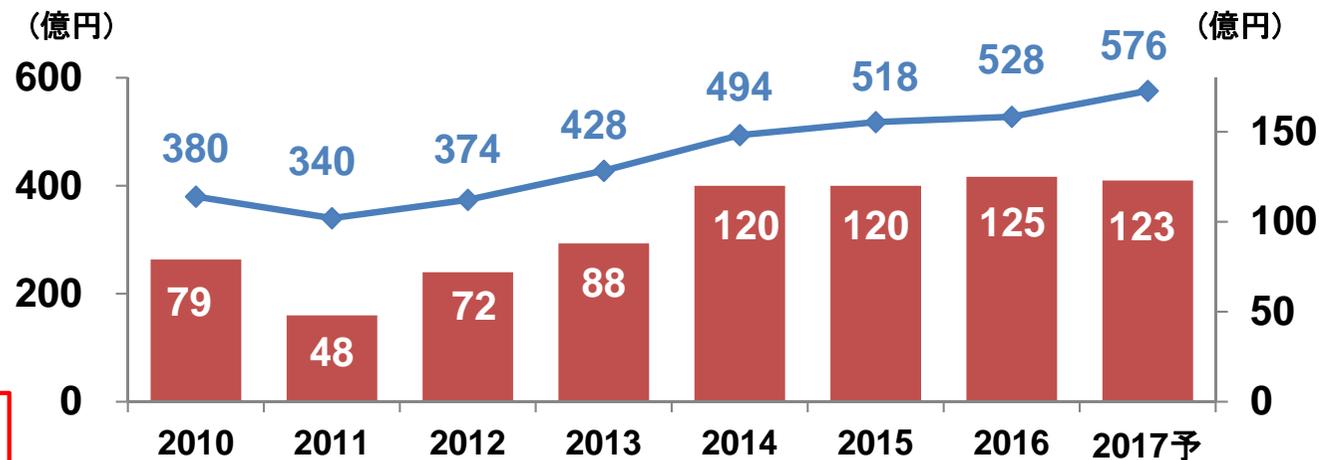
上記3製品グループの2016年度実績連結基礎化学品売上高に占める割合:39%

機能性材料セグメント概況 - (A) 業績

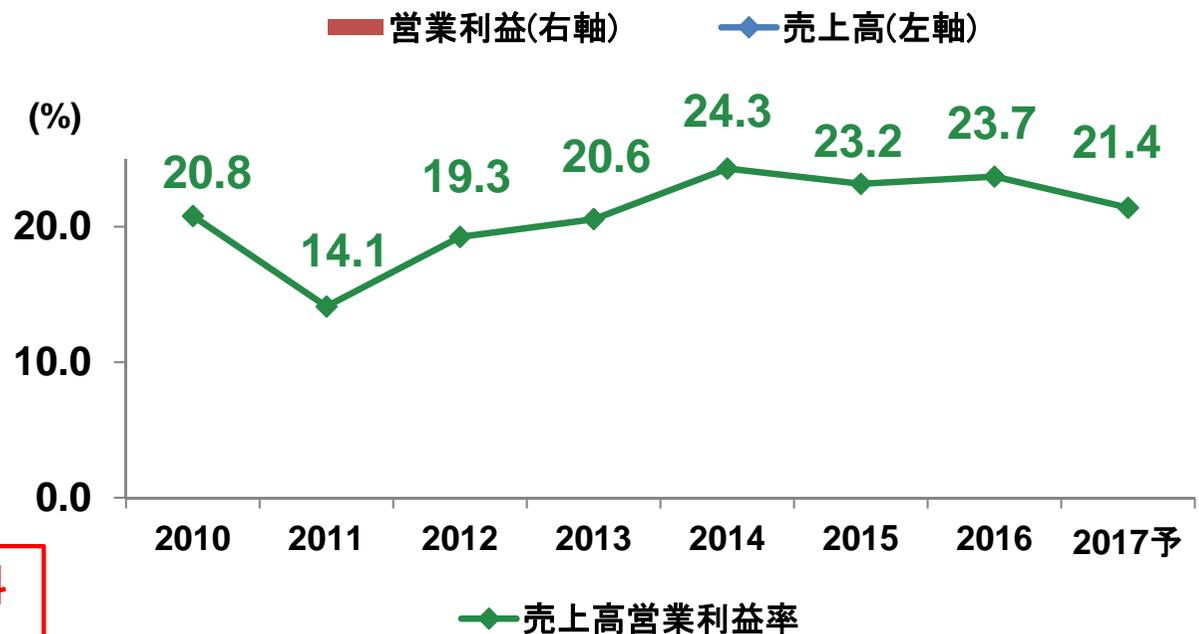
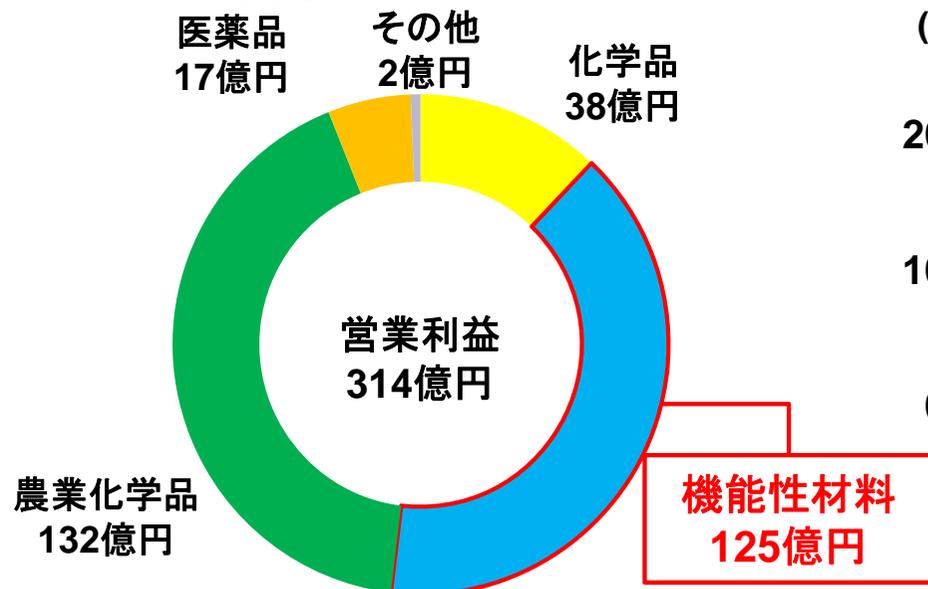
1. 2016年度 売上高構成



3. 機能性材料業績推移



2. 2016年度 営業利益構成



機能性材料セグメント概況 – (B) ディ스플레이材料

2016売上高実績

<上期前年比>

<下期前年比>

<下期2016/11業績予想比>

ディスプレイ材料合計増収+4%

ディスプレイ材料合計増収+7%

ディスプレイ材料合計上ぶれ

IPS/FFS増収、TN・VA減収、光IPS好調

IPS/FFS・VA増収、TN減収、光IPS好調

IPS/FFS・TN上ぶれ、VA横ばい

2017売上高予想

<年間前年比>

ディスプレイ材料合計増収+8%

IPS/FFS・VA増収、TN減収、光IPS好調

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率								
	2016予想 (2016/11 発表)			2016実績			2017予想		
	上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
サンエバー	+4%	+2%	+3%	+4%	+7%	+5%	+6%	+9%	+8%
その他ディスプレイ材料 計	-3%	+35%	+16%	-3%	+21%	+9%	+10%	+27%	+20%
ディスプレイ材料合計	+4%	+3%	+3%	+4%	+7%	+5%	+6%	+10%	+8%

◆ 2016年9月 Solvay社と、塗布型有機EL用ホール注入材とホール輸送材の特許およびノウハウ購入契約締結

機能性材料セグメント概況 - (C) 半導体材料

2016売上高実績

<上期前年比>

<下期前年比>

<下期2016/11業績予想比>

半導体材料合計減収-6%

半導体材料合計増収+6%

半導体材料合計下ぶれ

KrF・ArF・その他半導体材料減収

KrF・ArF・その他半導体材料増収

KrF上ぶれ、ArF下ぶれ、その他半導体材料下ぶれ

2017売上高予想

<年間前年比>

半導体材料合計増収+12%

KrF減収、ArF・その他半導体材料増収

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率								
	2016予想 (2016/11 発表)			2016実績			2017予想		
	上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
KrF (ARC®)	-8%	+3%	-3%	-8%	+10%	+0%	+2%	-4%	-1%
ArF (ARC®)	-1%	+6%	+2%	-1%	+4%	+1%	+16%	+11%	+13%
小計	-3%	+5%	+1%	-3%	+7%	+1%	+10%	+5%	+8%
その他半導体材料 計(1)	-15%	+36%	+10%	-15%	+3%	-6%	+29%	+30%	+29%
半導体材料合計	-6%	+11%	+3%	-6%	+6%	-0%	+14%	+10%	+12%

(1) 多層材料(OptiStack®)、マイクロレンズ`等

◆ 次世代ロードマップ進行に沿った評価機器、開発設備、生産設備投資

主要投資(承認ベース): 14年 評価機器11億円

15年 開発設備28億円・評価機器8億円、増強8億円、NCK7億円、半導体材料研5億円

16年 NCK32億円、評価機器10億円、半導体材料研5億円

17年 半導体材料研3億円

機能性材料セグメント概況 - (D-1) 無機コロイド材料

< スノーテックスの特徴 >

透明性 親水性 耐熱性
導電性 高硬度 結合性
増摩性 結合性 増粘性
屈折率調整

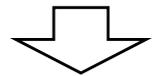
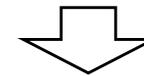


< 主な用途 >

磨く

塗布

固める



< 使用例 >

磨く

シリコンウェハ、
アルミ/ガラス
ハードディスク

塗る

鋼板、
レンズ、
プラスチック
フィルム

固める

脱硝触媒、
各種バインダー

高機能コロイド製品群

スノーテックス

コロイダルシリカ
(水分散シリカゾル)

オルガノゾル

有機溶媒分散シリカゾル

アルミナゾル

サンコロイド

高屈折率及び新規製法
による金属酸化物ゾル

セルナックス

導電性材料・熱線吸収

機能性材料セグメント概況 – (D-2) スノーテックス・オルガノゾル

2016売上高実績

<上期前年比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル

研磨材減収、一般用途増収
減収

<下期前年比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル

研磨材増収、一般用途減収
減収

<下期2016/11業績予想比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル

研磨材上ぶれ、一般用途下ぶれ
下ぶれ

2017売上高予想

<年間前年比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル

研磨材増収、一般用途減収
増収

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2016予想(1) (2016/11発表)			2016実績(1)			2017予想		
		上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
スノーテックス	◆(用途) 研磨材(シリコンウェハー・アルミ・ガラスハート・ディスク)、脱硝触媒、特殊鋼板等	-4%	+2%	-1%	-4%	+6%	+1%	+3%	-3%	+0%
オルガノゾル	◆(用途) 電子機器用フィルム表面処理	-7%	-1%	-4%	-7%	-3%	-5%	+15%	+5%	+10%

(1)単体ベース

機能性材料セグメント概況 - (E) セグメント収益動向

(億円)

	2015実績			2016 下予想 (16/11発表)	2016実績(A)			2017予想(B)			増減 (B) - (A)			増減率 (B) - (A)		
	上	下	計	下	上	下	計	上	下	計	上	下	計	上	下	計
売上高	260	258	518	270	255	273	528	279	297	576	+24	+24	+48	+9%	+9%	+9%
営業利益	63	57	120	55	62	63	125	63	60	123	+1	-3	-2	+2%	-6%	-2%

2016下実績

<前年比>

- ◆ サンエバー増収 (IPS/FFS・VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料増収 (KrF・ArF・その他増収)
- ◆ 無機増収 (スノーテックス増収・オルガノゾル減収)
- ◆ 固定費増加+3億円 (連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+15億円(+6%)、営業利益+6億円(+12%)

2016下実績

<2016/11業績予想比>

- ◆ サンエバー売上高上ぶれ (IPS/FFS・TN 上ぶれ、VA横ばい)
- ◆ 半導体材料売上高下ぶれ (KrF上ぶれ、ArF・その他下ぶれ)
- ◆ 無機売上高上ぶれ (スノーテックス上ぶれ、オルガノゾル下ぶれ)
- ◆ 固定費下ぶれ8億円 (連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+3億円、営業利益+8億円

2016実績

<前年比>

- ◆ サンエバー増収 (IPS/FFS・VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料横ばい (KrF横ばい、ArF増収、その他減収)
- ◆ 無機横ばい (スノーテックス増収、オルガノゾル減収)
- ◆ 固定費増加+5億円 (連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+10億円(+2%)、営業利益+5億円(+4%)

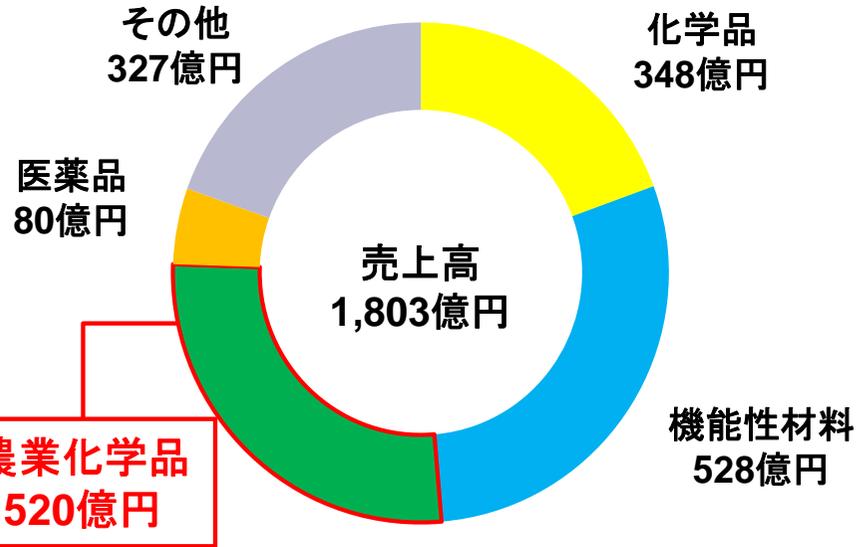
2017予想

<前年比>

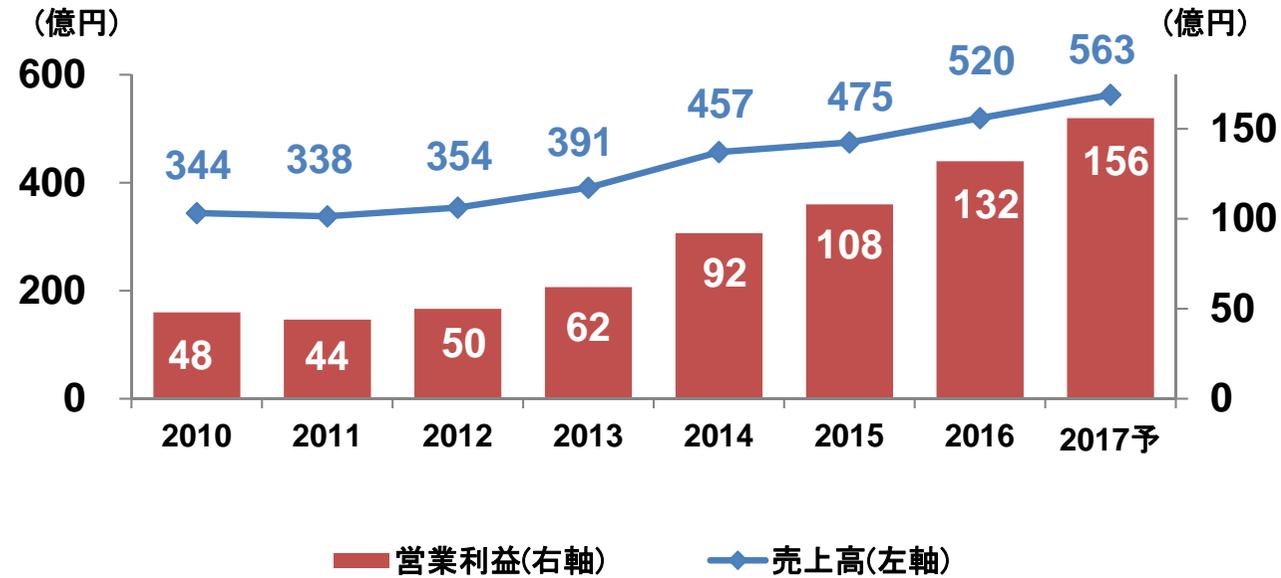
- ◆ サンエバー増収 (IPS/FFS・VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料増収 (KrF減収、ArF増収、その他増収)
- ◆ 無機増収 (スノーテックス横ばい、オルガノゾル増収)
- ◆ 固定費増加+33億円 (連結、R&D費用含む)
ディスプレイ+7億円、半導体+15億円、無機+7億円、共通+4億円
- ◆ 売上高+48億円(+9%)、営業利益-2億円(-2%)

農業化学品セグメント概況－(A) 業績

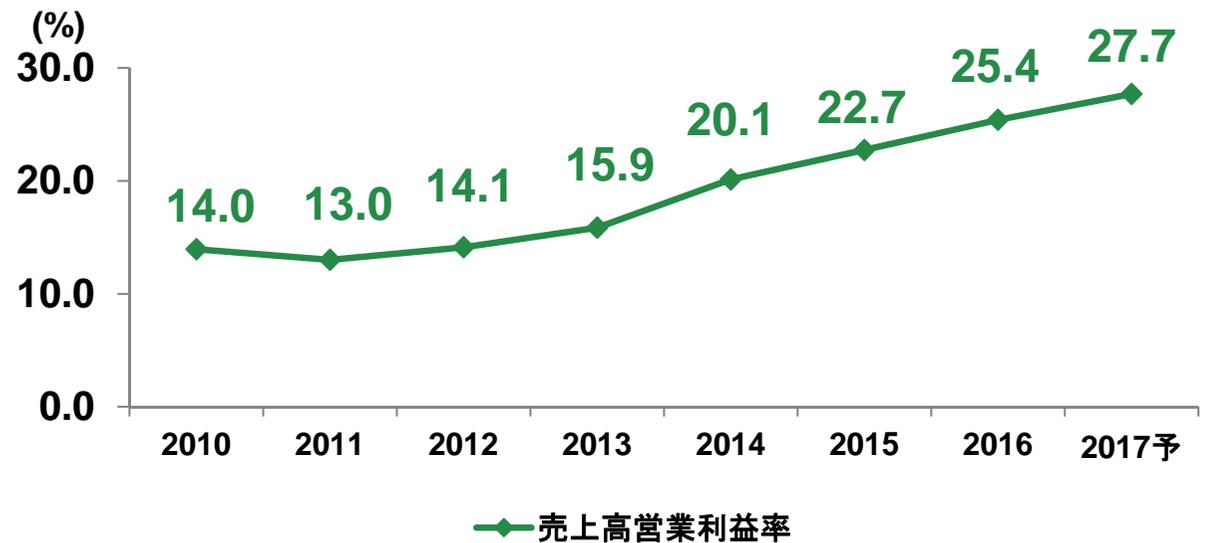
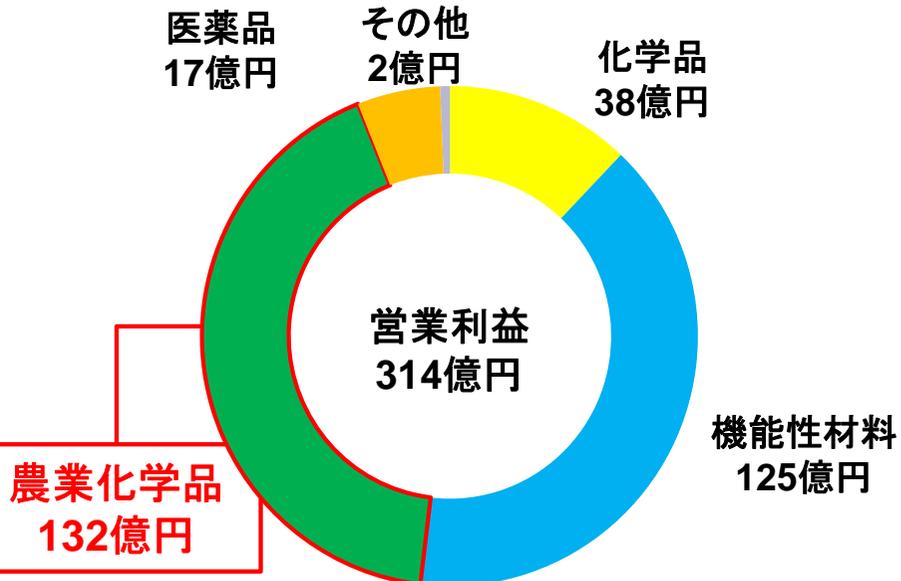
1. 2016年度 売上高構成



3. 農業化学品業績推移



2. 2016年度 営業利益構成



農業化学品セグメント概況- (B) 売上高増減(単体 値引前)

前年同期比 売上高増減

主要製品名 (2016年 売上高順)	種類	2015実績 (単体)	2016実績 (単体)	2017予想 (連結)
ラウンドアップ	除草	↘	↗↗	↘
フルララネル	動物薬	↗↗↗↗	↗↗↗↗	↗↗↗↗
アルテア	除草	↗↗↗↗	↗↗↗	↗
タルガ	除草	↘	↗	↘
パーミット	除草	↘↘	↘↘↘	↗
シリウス	除草	↘↘	↘↘	↘
ライメイ (1)	殺菌	↗↗	↗↗	↗↗
スターマイト	殺虫	↘	↘↘	↘
パルサー (チフルザミド)	殺菌	↗	↘↘↘↘	↗↗
サンマイト	殺虫	↘	↘↘	↗↗

2017年度実施の国内販売戦略変更に伴う下期出荷の2018年度への後ろ倒し(一過性)は、ほぼ全製品の国内売上を押し下げ(2017年度下期減収影響 約14億円)

前年同期比売上高増減

+30%~	↗↗↗↗
+20~+30%	↗↗↗
+10~+20%	↗↗
+0~+10%	↗
-0~-10%	↘
-10~-20%	↘↘
-20~-30%	↘↘↘
-30%~	↘↘↘↘

(1) オラクル(根こぶ病・土壌病害用 殺菌剤)を含む

農業化学品セグメント概況- (C)

- ◆ 安定的収益源から、アルテア、ラウンドアップ、フルララネルを軸に高成長事業に進化
- ◆ 自社新剤、買収剤、導入剤で戦力増強

(上市時期)	(製品)
2002年度	ラウンドアップ(国内事業をモンサントより買収)
2008年度	ライメイ(殺菌剤、自社)、スターマイト(殺虫剤、自社)
2009年度	パルサー(チフルザミド)(殺菌剤、ダウより買収)、プレバソン(殺虫剤、導入)
2010年度	ラウンドアップAL(一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤)上市、急成長中
2011年度	アルテア(除草剤、自社)を韓国上市
2012年度	アルテアを日本上市
2013年度	フルララネル(動物用医薬品原薬)をMAH社*向けに出荷開始
2014年度	ブラベクト(動物用医薬品)をMAH社が欧州(4月)、米国(6月)で上市 エクシレル/プリロッソ(サイアジピル)(殺虫剤、デュポンより導入)上市
2015年度	ブラベクトを(株)インターベット**が日本で上市(7月) トレファノサイド(畑作用除草剤、米ゴーワンがダウより買収、当社は国内販売独占権を継承)
2017-18年度	インクラスト(殺虫剤、ダウより導入) インピラザム(殺菌剤、シンジェンタより導入)上市予定
2019年度	グレーシア(殺虫剤、自社)上市予定
2022年度	汎用性殺菌剤(自社)上市予定

*MAH社=メルク社(米国)のアニマルヘルス事業部門、
Merck Animal Health

** (株)インターベット=MAH社の日本法人

- ◆ 2017年3月 フルララネル生産体制強化(外部委託製造所複数化)
- ◆ 2017年4月 生物科学研究所整備計画完了(医薬品と共通)
 - 期間、投資額： 2010-17年、合計64億円
 - 主要施設： 本館、完全自動化化合物ライブラリ、人工気象室、温室、農薬研究棟、栽培管理棟
- ◆ 2017年5月 グレーシア原体製造設備着工(投資額14億円、2018年7月完工予定)
- ◆ 2011年9月 イハラブラス社(ブラジル)に3%資本参加
- ◆ 2014年4月 中国、2016年8月ブラジルで現地法人営業開始(販売支援、普及サービス、製品開発支援)
- ◆ 2016年度連結実績 輸出比率:32%(アジア25%、欧州・アフリカ64%、北・中南米11%)

農業化学品セグメント概況ー (D) フルララネル

◆フルララネル(Fluralaner)

ブラベクトの有効成分であるフルララネルは、これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有しており、動物用医薬品原薬として、当社がMAH社に供給する

◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MAH社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れ、さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間(クリロコイタマダニは8週間)にわたって持続するという優れた特長を有する
- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)が、EU(欧州連合)において販売承認され、MAH社が2014年4月より、イタリア・オランダ・スペイン・ドイツ・フランス・英国、2014年6月より米国、2015年7月より日本でそれぞれ販売開始し、現在、約80か国で販売中
- 犬・猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)が、2016年5月EU、2016年7月米国で販売承認取得
猫向けは、2016年7月EU、2016年12月米国で販売開始
犬向けは、2017年1月ドイツ、オーストリアで販売開始

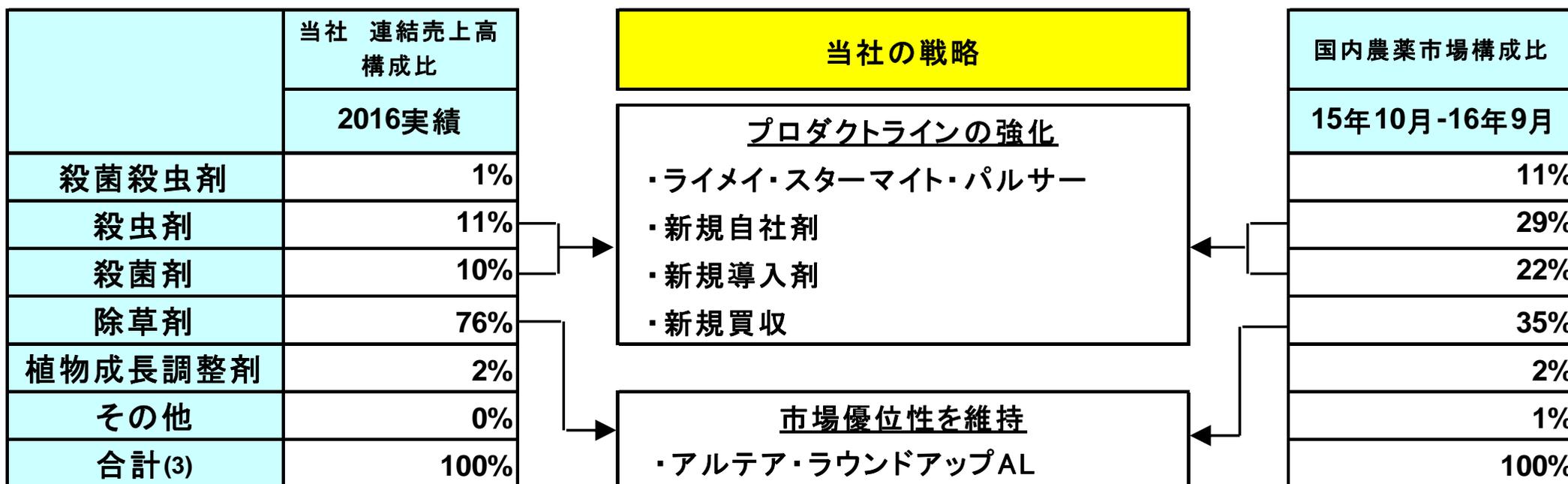


農業化学品セグメント概況－(E) 売上高(値引前)

	前年同期比 売上高成長率 (2)													
	2013 実績	2014 実績	2015実績			2016予想 (2016/11 発表)			2016実績			2017予想		
			上	下	計	上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
ラウンドアップ (うちラウンドアップAL(1))	-0% (+66%)	+17% (+59%)	+2% (+27%)	-3% (+62%)	-0% (+36%)	+20% (+26%)	+7% (+4%)	+13% (+20%)	+20% (+26%)	+6% (+40%)	+13% (+30%)	-1% (+30%)	-7% (-4%)	-4% (+19%)

(1) ALは2016年度ラウンドアップ売上高全体の約15%を占める

(2) 2013-2016実績は単体ベース、2017予想は連結ベース



(3)フルララネルを除く

農業化学品セグメント概況 - (F) セグメント収益動向

(億円)

	2015実績			2016 下予想 (16/11発表)	2016実績(A)			2017予想(B)			増減 (B) - (A)			増減率 (B) - (A)		
	上	下	計	下	上	下	計	上	下	計	上	下	計	上	下	計
売上高	211	264	475	282	240	280	520	249	314	563	+9	+34	+43	+4%	+12%	+8%
営業利益	62	46	108	59	69	63	132	76	80	156	+7	+17	+24	+11%	+26%	+18%

2016下実績

<前年比>

- ◆ 増収:フルララネル、アルテア(内外)、ラウンドアップ、ライメイ、トレファノサイド
- ◆ 減収:パーミット、タルガ(輸出)、パルサー、シリウス
- ◆ 在庫変動影響-3億円(費用増)
- ◆ 売上高+16億円(+6%)、営業利益+17億円(+38%)

2016下実績

<2016/11業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: アルテア(内外)、パーミット(輸出)、タルガ(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ: フルララネル、パルサー(輸出)、サンマイル
- ◆ 在庫変動影響+2億円(費用減)
- ◆ 売上高-2億円、営業利益+4億円

2016実績

<前年比>

- ◆ 増収:フルララネル、アルテア(内外)、ラウンドアップ、トレファノサイド、タルガ(輸出)、ライメイ
- ◆ 減収:パーミット、パルサー(輸出)、シリウス
- ◆ 固定費増加+3億円、在庫変動影響-7億円(費用増)
- ◆ 売上高+45億円(+9%)、営業利益+24億円(+22%)

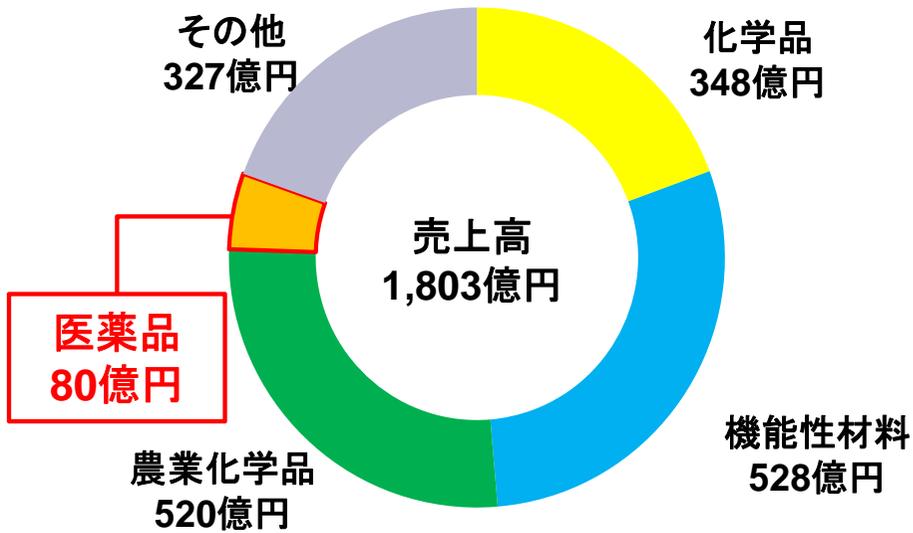
2017予想

<前年比>

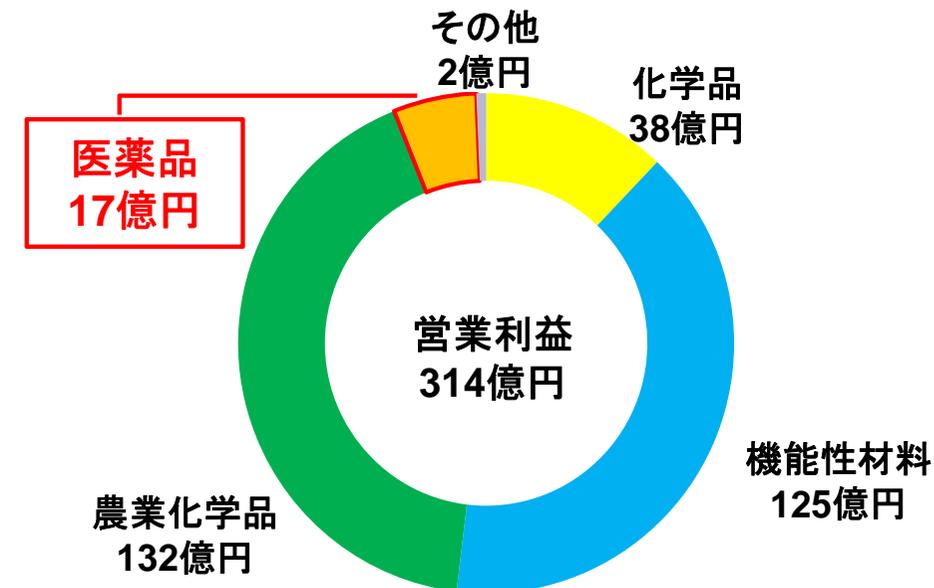
- ◆ 国内販売戦略変更に伴う下期出荷の18年度への後ろ倒し(一過性)でほぼ全製品の国内売上減収(約14億円)
- ◆ 増収(輸出):フルララネル、パーミット、パルサー、ライメイ、サンマイル
- ◆ 減収(輸出):タルガ
- ◆ 固定費増加+8億円、在庫変動影響+2億円(費用減)
- ◆ 売上高+43億円(+8%)、営業利益+24億円(+18%)

医薬品セグメント概況 - (A) 業績

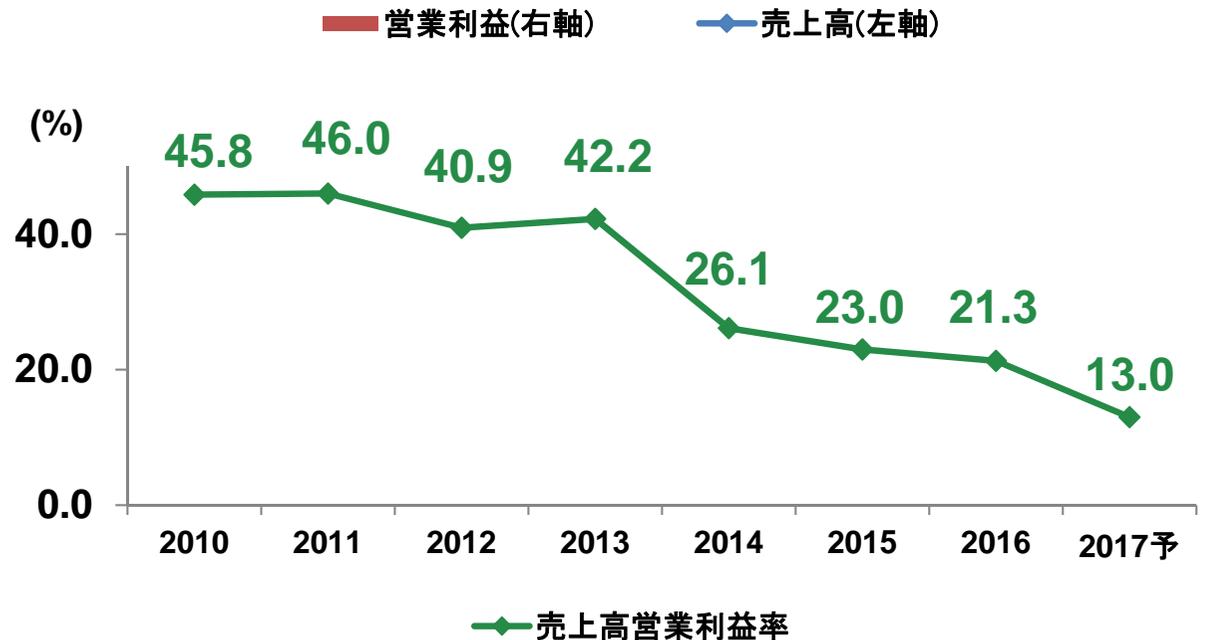
1. 2016年度 売上高構成



2. 2016年度 営業利益構成

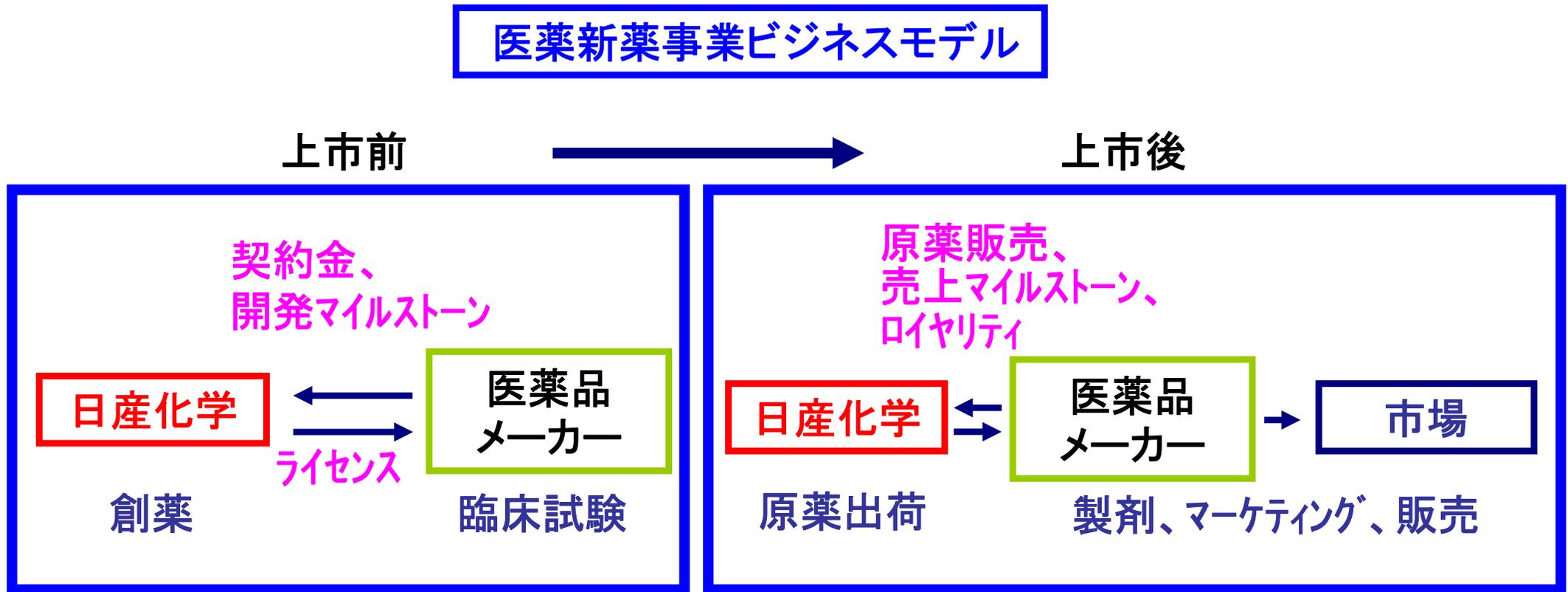


3. 医薬品業績推移



医薬品セグメント概況 – (B) 新薬ビジネスモデル

- ◆ 創薬、開発に特化し、販売部門を有さないユニークな医家向け医薬ビジネスモデル



医薬品セグメント概況 – (C) リバロ

	2013実績	2014実績	2015実績	2016予想 (2016/11発表)	2016実績	2017予想
国内末端売上高（薬価ベース、億円）	526	345	297	-	239	-
マーケットシェア (1)	21%	16%	15%	-	13%	-
当社原薬売上高（国内外合計、億円）	102	69	58	51	52	43
当社原薬売上高 前年同期比成長率 (うち国内)	-2% (-2%)	-32% (-46%)	-15% (-27%)	-13% (-41%)	-11% (-42%)	-17% (-40%)

(1) 後発品除く

- ◆ 2013年8月 国内物質特許満了
- ◆ 2014年4月 米国で後発品に対する特許権侵害訴訟提起
(ANDA訴訟: Abbreviated New Drug Application訴訟)
- ◆ 2016年度 国内シェア約13%
- ◆ 2016年度 薬価改定(約-7~-9%)
- ◆ 生物科学研究所整備投資完了(農業化学品と共通)

2016年度 新薬マーケットシェア(1)

クレストール	60%
リピトール	15%
リバロ	13%
メバロチン	7%

医薬品セグメント概況 – (D) リバロ 世界開発販売状況

地域名	国名	上市時期	販売担当企業名
アジア	日本	2003年9月	興和創薬
	韓国	2005年7月	JWPコーポレーション
	タイ	2008年1月	バイオフาร์ม・ケミカル
	中国	2009年7月	興和(上海)医薬諮詢有限公司
	インドネシア	2012年5月	タナベインドネシア(田辺三菱製薬)
	台湾	2012年6月	台田薬品股份有限公司(田辺三菱製薬)
北米	米国	2010年6月	興和KPA
中南米	メキシコ、ブラジル、 コロンビア、ベネズエラ	2012年2月～	イーライリリー
欧州	スペイン、ポルトガル、 ウクライナ、ギリシャ、スイス	2011年5月～	レコルダッチ
中近東	レバノン、ヨルダン、UAE、 クウェート、サウジアラビア	2011年3月～	アルゴリズム

計 21ヶ国で販売中

医薬品セグメント概況 – (E) パイプライン

開発品	作用機序	適応症候補	パートナー
NIP-022	・トロンボホ°エチン(TPO)受容体活性化	・血小板減少症	・小野薬品工業とのライセンス契約終了(2014/4) ・ヤクルト本社とライセンス契約締結(2015/10) ・国内臨床第I相試験開始(2016/7)
NT-702	・フォスフォジ°エステラーゼ°(PDE)3阻害	・間欠性跛行 ・喘息	・大正製薬とのライセンス契約終了 ・導出先検討中
NTC-801	・アセチルコリン感受性カリウムチャネル(IKACH)阻害	・不整脈(心房細動など)	・帝人ファーマ、フ°リストルマイヤーズ°・スクイフ°とのライセンス契約終了(2015/9) ・新たな導出先検討中

- ◆2016年1月 塩野義製薬と新規抗真菌薬創製を目指した共同研究契約締結
- ◆2017年3月 田辺三菱製薬と新規自己免疫疾患治療薬創製を目指した共同研究契約締結
- ◆2017年4月 塩野義製薬と新規抗疼痛薬創製を目指した共同研究契約締結
- ◆新規テーマ:

戦略的に構築した化合物ライブラリー、精密有機合成力などの強みを活かし、循環器疾患領域、神経疾患領域での創薬を目指す

医薬品セグメント概況 – (F) ファインテック

- ◆ 医薬品開発研究参加型事業で、前臨床から商業生産まで、新薬の原薬・中間体製造、プロセス研究を受託
- ◆ 2013年 10月 経営資源(合成技術、製造・研究・品質管理体制)の効率的運用とシナジーを狙い、医薬品事業部と統合し、創薬事業と受託事業の二本柱とした
- ◆ 高活性・高付加価値ジェネリック原薬(プロスタグランジンやビタミンD3等)を中心として、新規案件獲得に注力中

2016売上高実績

<上期前年比>

増収(一部既存製品の出荷量増加)

<下期前年比>

増収(一部既存製品の出荷量増加、新規開発品受託)

<下期2016/11業績予想比>

ほぼ予想通り

2017売上高予想

<年間前年比>

増収(一部既存製品の出荷量増加、新規開発品受託)

前年同期比 連結売上高成長率								
2016予想 (2016/11 発表)			2016実績			2017予想		
上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
+10%	+3%	+6%	+10%	+2%	+6%	-10%	+17%	+6%

医薬品セグメント概況 - (G) セグメント収益動向

(億円)

	2015実績			2016 下予想 (16/11発表)	2016実績(A)			2017予想(B)			増減 (B) - (A)			増減率 (B) - (A)		
	上	下	計	下	上	下	計	上	下	計	上	下	計	上	下	計
売上高	37	50	87	39	37	43	80	30	39	69	-7	-4	-11	-19%	-9%	-14%
営業利益	6	14	20	8	6	11	17	1	8	9	-5	-3	-8	-84%	-23%	-46%

2016下実績 <前年比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック増収
(一部既存製品の出荷量増加、新規開発品受託)
- ◆ 一時金減収
- ◆ 売上高-7億円(-13%)、営業利益-3億円(-25%)

2016下実績 <2016/11業績予想比>

- ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内予想通り、輸出上ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高予想通り
- ◆ 一時金あり
- ◆ 売上高+4億円、営業利益+3億円

2016実績 <前年比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック増収
(一部既存製品の出荷量増加、新規開発品受託)
- ◆ 一時金減収
- ◆ 売上高-7億円(-8%)、営業利益-3億円(-17%)

2017予想 <前年比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出減収)
- ◆ ファインテック増収
(一部既存製品の出荷量増加、新規開発品受託)
- ◆ リバロ米国ANDA訴訟費用減
- ◆ 一時金なし
- ◆ 売上高-11億円(-14%)、営業利益-8億円(-46%)

(白紙)

セグメント別 設備投資・減価償却・研究開発費用

(億円)

	設備投資 (1)					減価償却 (2)					研究開発費用					売上高比率
	2013	2014	2015	2016	2017E	2013	2014	2015	2016	2017E	2013	2014	2015	2016	2017E	
化学	12	14	23	20	35	14	14	14	16	19	4	5	5	5	5	1.4%
機能性材料	43	52	54	84	85	32	36	52	48	63	63	67	74	79	85	14.8%
農業化学	13	18	13	24	13	20	18	14	13	15	35	35	39	38	42	7.5%
医薬	6	4	4	9	6	12	9	8	7	7	29	27	24	22	25	36.2%
卸売	0	0	0	0	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	-
その他	14	10	8	6	6	6	7	8	4	6	11	16	16	17	15	-
合計	88	98	102	143	148	85	85	97	89	111	142	150	158	161	172	
(売上高研究開発費比率)											8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	9.1%	

(1) 設備投資額

実績 - 検収ベース

予想 - 稼働開始ベース

(2) 減価償却法

サンエバー・ARC® - 4年定率(初年度50%を償却)

その他製品 - 8年定率(初年度25%を償却)

研究所総合職人員(16/9) -①	430
総合職人員(16/9) -②	1,090
①/②	39%

※単体ベース

※概数

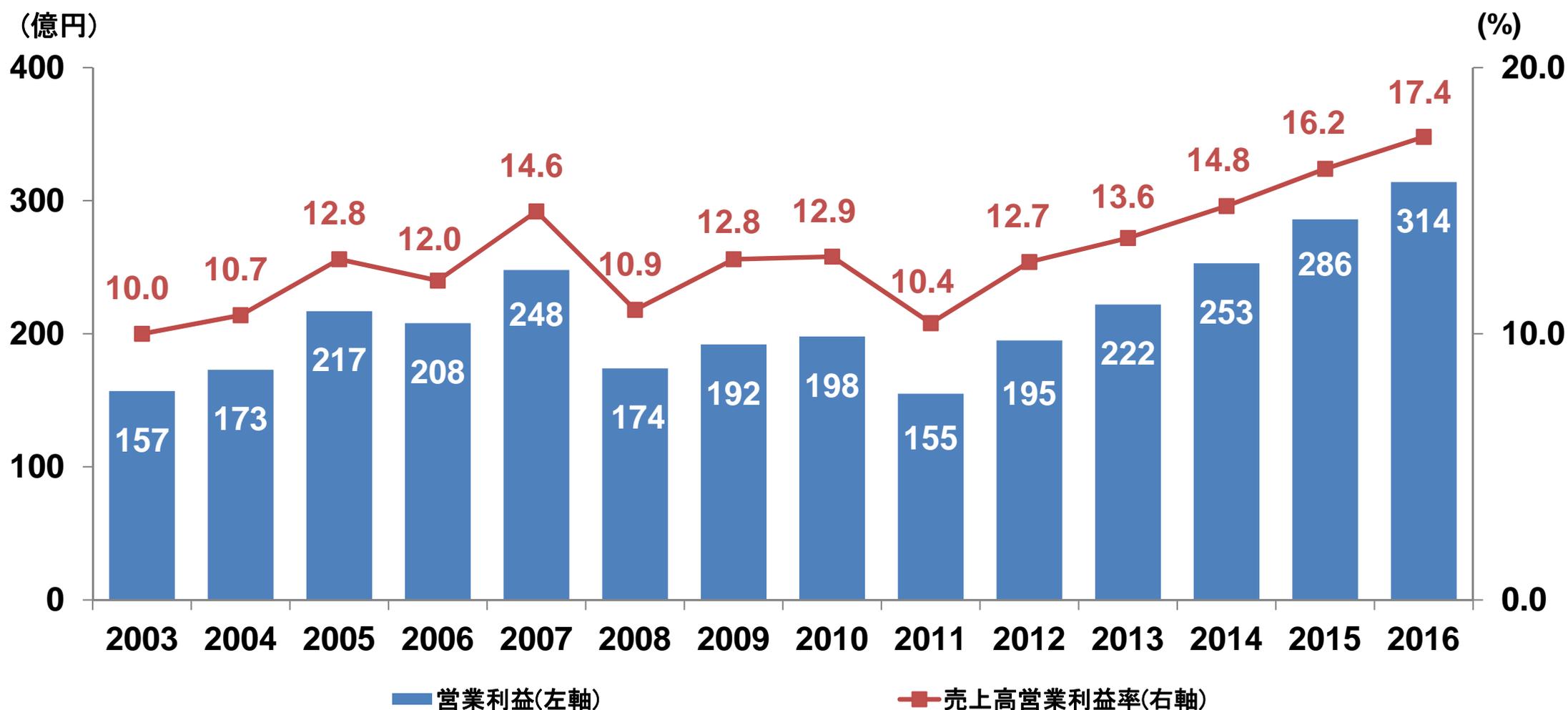
主要設備投資(承認ベース)

(億円)

2014実績		2015実績		2016実績		2017予想	
項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
生物科学研第5期(施設)	13	半導体(開発設備新設)	28	NCK 半導体増強	32	農薬(設備新設)	14
半導体(評価機器)	11	材料研(機器)	17	材料研(機器)	13	化学品開発プラント	12
アンモニア原料転換	11	農薬(製剤増強)	12	半導体(評価機器)	10	材料研(機器)	10
電材研(機器)	9	サンエバー原料増強	10	物質研(機器)	6	物質研(機器)	6
無機品質向上工事	7	半導体(評価機器)	8	スノーテックス増強	5	DP(試験製造)	4
物質科学研(機器)	6	半導体 増強	8	NCK サンエバー増強	3	生物科学研(機器)	3
NCK R&Dセンター(機器)	3	NCK 半導体	7	スノーテックス増強	3	DP(製造設備)	3
		ファインテック増強	4	NCK R&Dセンター(機器)	2		
		テピック増強	3	生物科学研(機器)	2		
		生物科学研(機器)	2				
		NCK R&Dセンター(機器)	2				

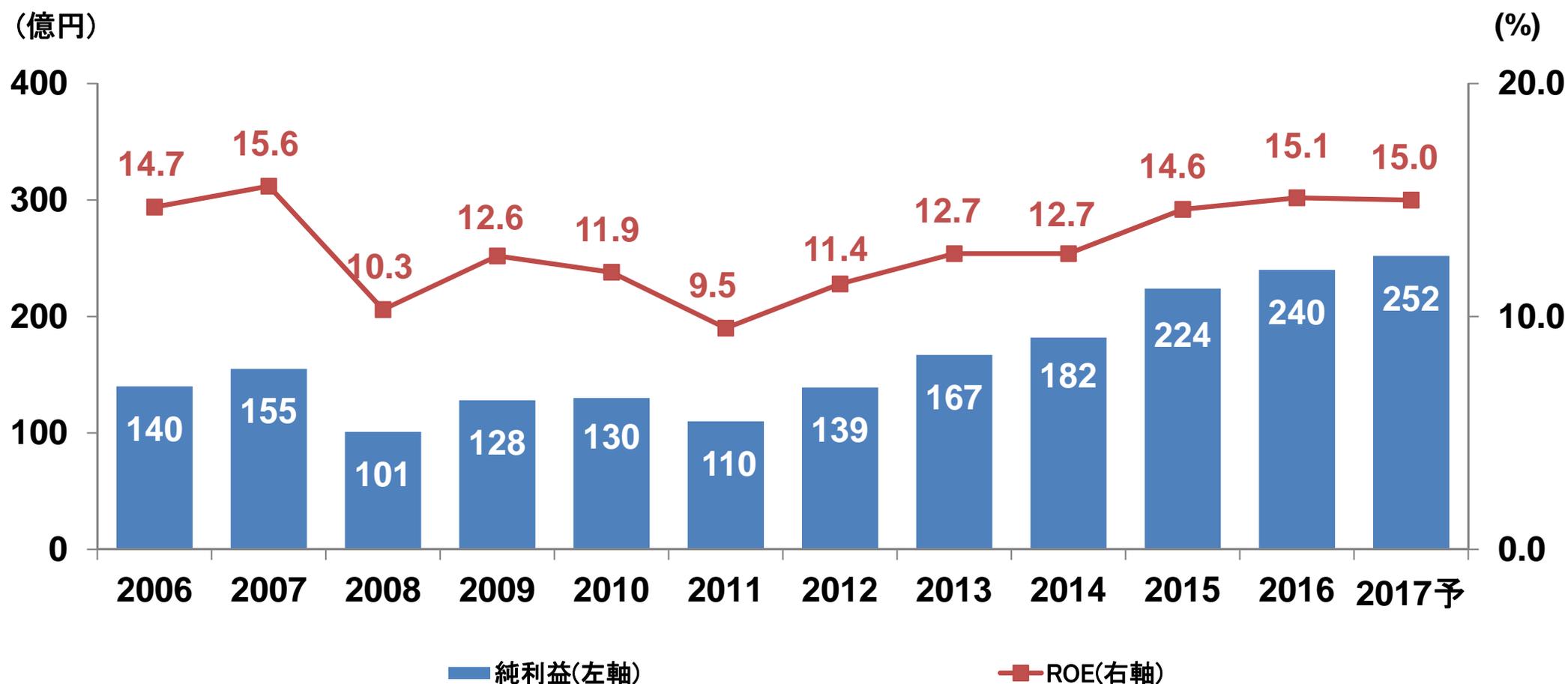
当社の特徴－ (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
(2003年度以降14年連続10%以上)



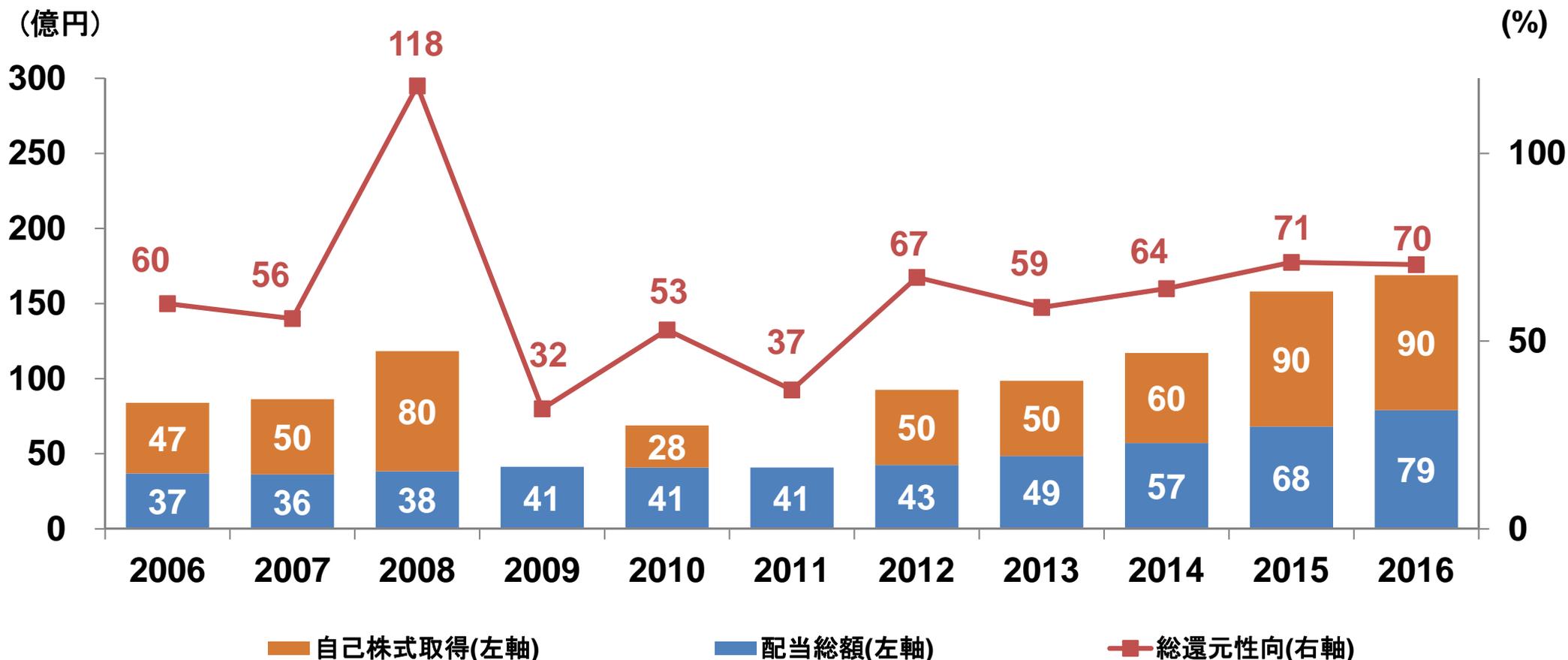
当社の特徴－(B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016年度は達成(15.1%)



当社の特徴－(C)株主還元(総還元性向)

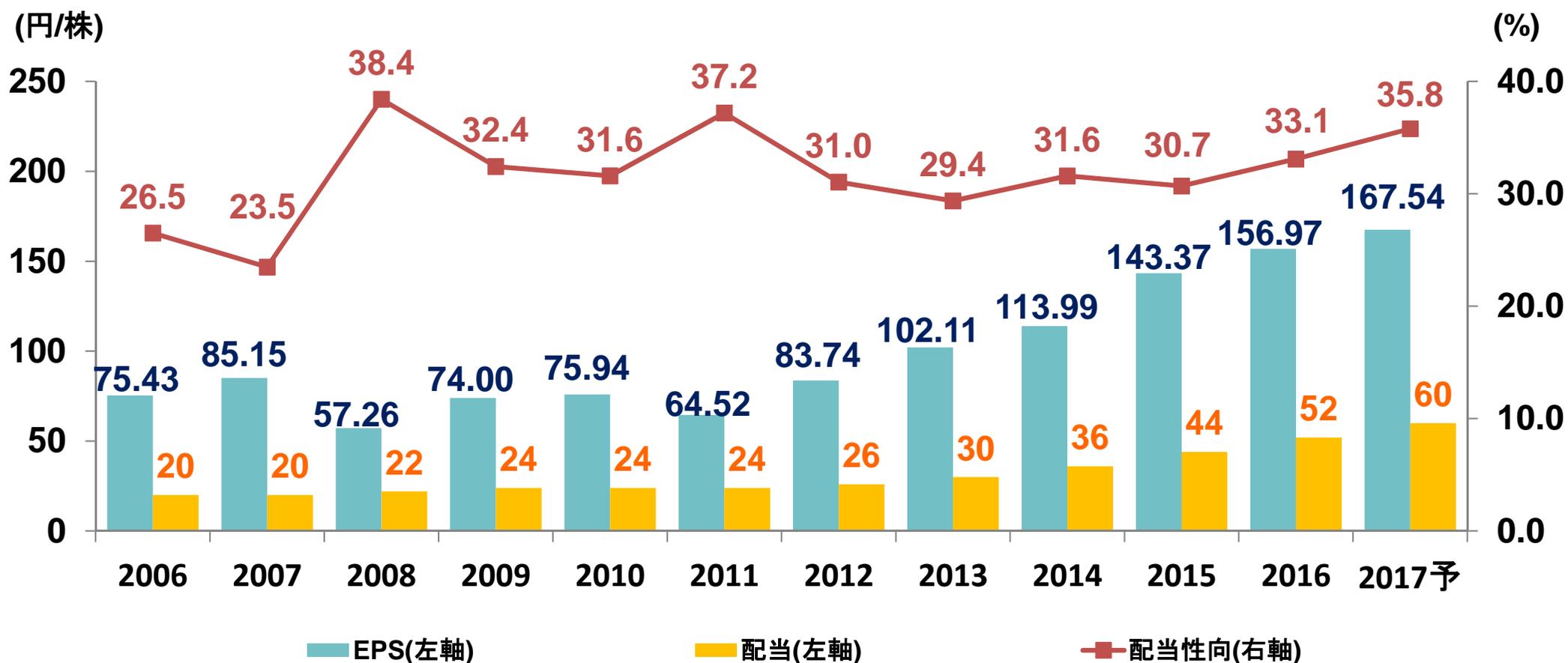
- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016年度は達成(70.4%)



当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

◆ 近年は30%を目標として配当してきた

◆ 2015年度30%から段階的に引き上げ、2016年度は33%（実績33.1%）、2018年度以降は40%を目標とする



当社の特徴- (E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-16年度取得総額545億円、3,477万株(取得開始前発行済株式の18.5%)
- ◆ 2006-16年度取得株はすべて消却済(5/12時点)

2006-16年度 自己株式取得実績

(1) 単位未満株式買取を除く (2) 単位未満株式を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
自己株式取得総数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	34,774
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	545
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	33,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	

- ◆ 2016年度、2017年度
 - 消却時期:2016年5月10日 消却株数:1,000千株
 - 消却時期:2016年8月31日 消却株数:1,000千株
 - 消却時期:2017年5月9日 消却株数:2,000千株

- ◆ 2017年5月12日発表
 - 取得株数:1,700千株 取得総額:50億円
 - 取得期間:2017年5月15日~7月31日

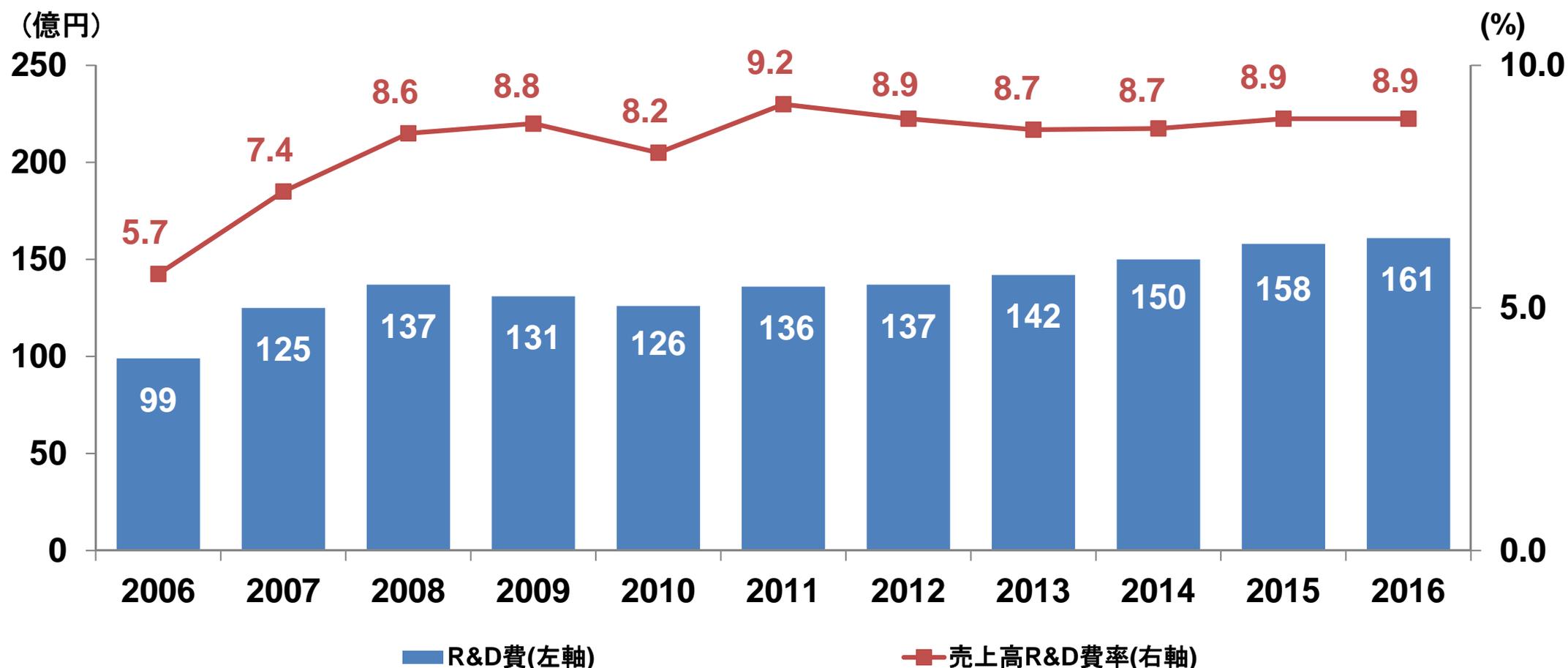
- ◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準

$$= \text{必要下限額} + \text{流動性リスク対応} [1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})] + \text{偶発リスク対応}$$

当社の特徴- (F-1)研究開発

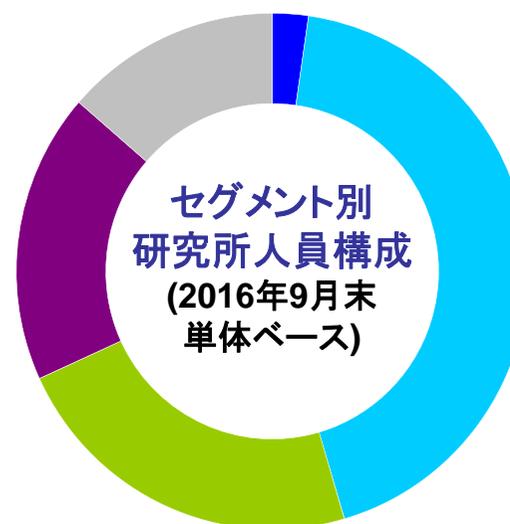
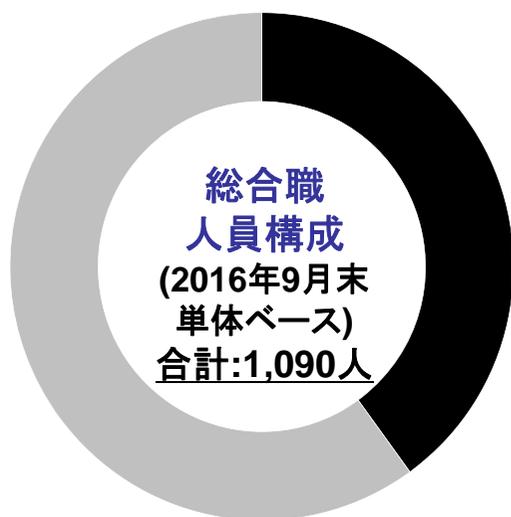
- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員



当社の特徴－(F-2)研究開発

◆セグメント別研究開発費

セグメント	主要製品・分野	2016年度実績				
		売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	アンモニア系製品、硫酸系製品 ファインケミカル	348	38	10.9	5	1.4
機能性材料	液晶ディスプレイ用配向膜 半導体反射防止材	528	125	23.7	79	15.0
農業化学品	農薬	520	132	25.4	38	7.3
医薬品	リハロ、ファインテック	80	17	21.3	22	27.5
コーポレート他		-	-	-	17	-
その他共合計		1,803	314	17.4	161	8.9



(白紙)

新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021) 数値目標 (A)

(億円)

1. PL	2015	2016	2018	2021
売上高	1,769	1,875	2,170	2,500
営業利益	286	297	350	400
経常利益	295	304	356	408
当期純利益	224	230	271	310
売上高営業利益率	16.2%	15.8%	16.1%	16.0%
ROE	14.6%	14.3%	14%以上	14%以上
配当性向	30.7%	33.3%	40%	40%
総還元性向	70.8%	70%維持	70%維持	70%維持

(諸元)

為替レート(円/ドル)	上期 122 下期 118	2016年度以降 115
ナフサ(円/kl)	上期48,000 下期 37,700	上期35,400 下期 35,400 2017年度以降 51,100

2. セグメント(1)	売上高				営業利益				(億円)
	2015	2016	2018	2021	2015	2016	2018	2021	
化学品	343	354	380	405	39	49	40	45	
機能性材料	518	553	680	829	120	117	154	184	
農業化学品	475	521	586	670	108	113	129	167	
医薬品	87	74	81	83	20	14	20	24	
卸売・その他・調整	346	373	443	513	-1	4	7	-20	
合計	1,769	1,875	2,170	2,500	286	297	350	400	

(1) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)

ターゲットとする経営指標 (B)

- ◆ 売上高営業利益率
 - 15%以上維持
- ◆ ROEを継続して最重視
 - 14%以上維持
- ◆ 配当性向
 - 現状実績30%から段階的に引き上げ、2018年度以降40%
- ◆ 総還元性向
 - 70%維持(新規に目標設定)
- ◆ 高付加価値、研究開発型企业
 - 売上高研究開発費比率 8%以上

新中期経営計画 Vista2021 Stage I (FY2016-2018)

Stage I における成長の源泉 (C)

売上高増加額は、新中計策定時点での予想

売上高増加額
(2018年度 vs 2015年度)

		10億円未満	10億円以上30億円未満	30億円以上
機能性材料 化学品 ディ스플레이 半導体 無機 新材料	化学品	アドブルー 高純度アンモニア	テピック	
	ディスプレイ		VA	光IPS
	半導体	次元実装材料(TMAT), 新規リソグラフィ材料	半導体反射防止コーティング材 (ARC®) 半導体多層材料	
	無機		シェール掘削材料 (オイル&ガス分野)	
	新材料	有機EL関連材料 イメージセンサー向け材料 調光フィルム材料 ハイパーテック		
農業化学品	新規殺虫剤 (自社) 新規導入品	ラウンドアップ アルテア	フルララネル 海外	
医薬品	リバロ (海外) ファインテック 新剤導出・パイプライン充実			
新製品	その他新製品			

新中期経営計画 Vista2021 Stage I (FY2016-2018)

Stage II 以降に向けた取り組み (D)

情報通信

新製品の開発:
・耐熱レンズ
・調光フィルム
・光配線材料

次世代ディスプレイ材料の創出

次世代半導体材料の創出

ライフサイエンス

新剤の開発:
・殺虫剤NC-515
・新規殺菌剤
・新規水稻用除草剤

血小板増加薬NIP-022の開発

抗真菌薬の共同研究推進

細胞培養材料のグローバルスタンダード化

環境エネルギー

新製品の開発:
・2次電池および燃料電池材料

環境発電材料の創出

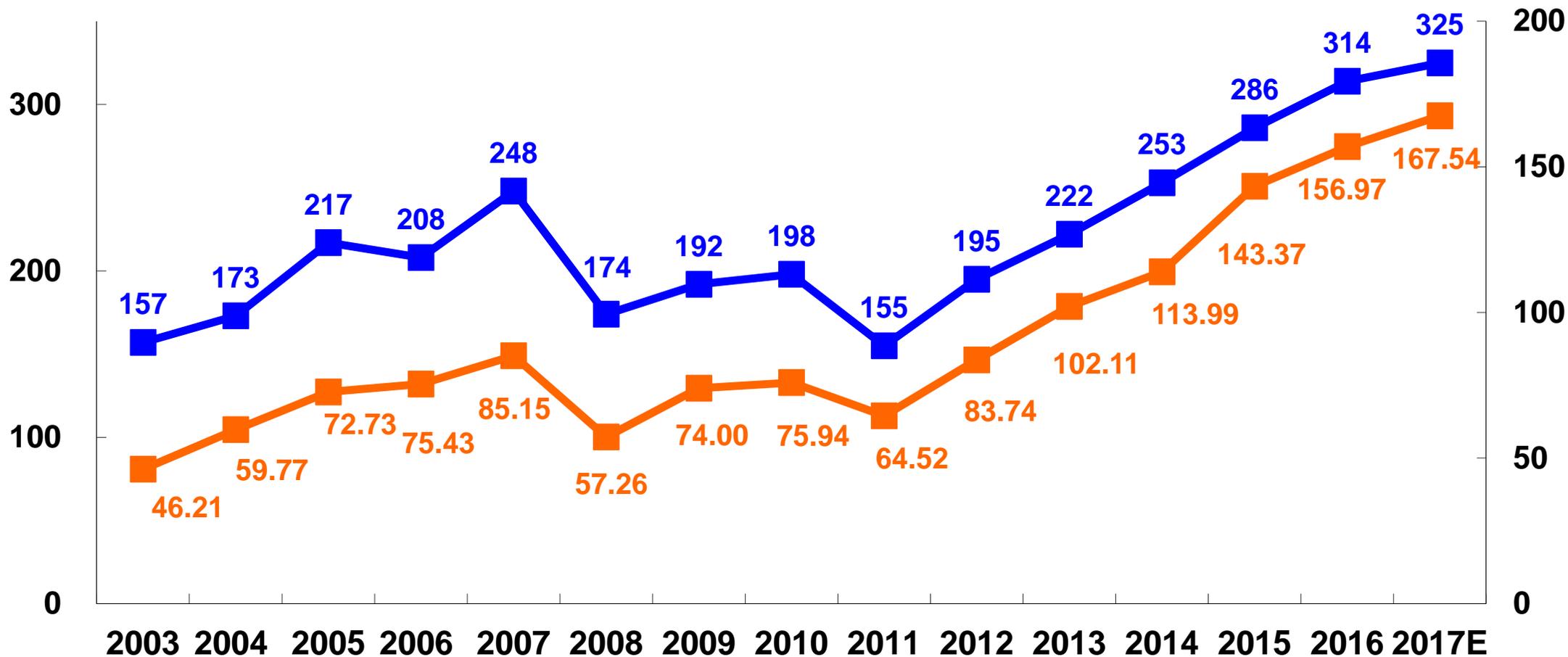
研究開発

生体材料分野におけるシーズ獲得

長期業績推移

営業利益
(億円)

EPS
(円/株)



長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017E
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,890
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	325
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	333
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	252
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	436
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	17.2%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	15.0%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	167.54
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	60
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	35.8%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	50
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	148
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	111
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	9.1%

2011-13 2Q 四半期別セグメント別売上高(旧セグメント)⁽¹⁾

(億円)

	2011実績					2012実績					2013実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	94	92	90	93	369	91	88	89	98	366	95	91
ファイン	30	29	24	26	109	29	27	24	32	112	29	31
基礎	64	63	66	67	260	62	61	65	66	254	66	60
機能性材料	87	83	86	84	340	95	93	95	91	374	103	103
農業化学	71	54	37	176	338	83	51	46	174	354	99	61
医薬	29	23	24	24	100	35	18	31	22	106	29	28
卸売	116	109	108	115	448	119	108	125	114	466	127	118
その他	46	47	43	64	200	39	63	46	64	212	46	51
調整額	-77	-76	-73	-83	-309	-78	-94	-86	-82	-340	-97	-90
合計	366	332	315	473	1,486	384	327	346	481	1,538	402	362

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

2011-13 2Q 四半期別セグメント別営業利益(旧セグメント)

(億円)

	2011実績					2012実績					2013実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	10	-2	6	2	16	8	0	4	7	19	8	0
機能性材料	17	9	11	11	48	21	20	16	15	72	21	23
農業化学	12	-4	-15	51	44	16	-3	-11	48	50	23	1
医薬	14	12	10	10	46	19	7	16	10	52	16	15
卸売	4	3	3	3	13	4	3	4	3	14	4	3
その他	0	0	-1	4	3	-1	2	1	5	7	1	1
調整額	-5	-4	-4	-2	-15	-4	-6	-5	-4	-19	-6	-4
合計	52	14	10	79	155	63	23	25	84	195	67	39

2013-16 四半期別セグメント別売上高(新セグメント)⁽¹⁾

(億円)

	2013実績					2014実績					2015実績					2016実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
化学	93	86	88	88	355	85	82	91	85	343	87	80	90	86	343	85	80	91	92	348
ファイン	27	26	23	23	99	27	26	28	25	106	30	25	25	26	106	28	25	27	27	107
基礎	66	60	65	65	256	58	56	63	60	237	57	55	65	60	237	57	55	64	65	241
機能	103	103	111	111	428	118	124	130	122	494	130	130	136	122	518	126	129	138	135	528
農化	99	61	55	176	391	123	62	57	215	457	136	75	50	214	475	145	95	42	238	520
医薬	31	33	30	22	116	25	25	21	17	88	21	16	35	15	87	22	15	24	19	80
卸売	127	118	128	134	507	141	132	141	130	544	147	128	149	132	556	144	132	137	139	552
他	46	51	49	68	214	38	47	46	78	209	41	48	47	73	209	40	46	58	96	240
調整	-97	-90	-89	-98	-374	-105	-98	-107	-113	-423	-110	-92	-110	-107	-419	-111	-103	-114	-137	-465
合計	402	362	372	501	1,637	425	374	379	534	1,712	452	385	397	535	1,769	451	394	376	582	1,803

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

2013-16 四半期別セグメント別営業利益(新セグメント)

(億円)

	2013実績					2014実績					2015実績					2016実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
化学	10	-2	6	5	19	10	-6	6	9	19	15	-1	12	13	39	15	-2	13	12	38
機能	21	23	23	21	88	33	34	32	21	120	34	29	36	21	120	30	32	38	25	125
農化	23	1	-8	46	62	40	0	-5	57	92	44	18	-13	59	108	45	24	-20	83	132
医薬	14	17	14	4	49	8	8	4	3	23	4	2	16	-2	20	6	0	8	3	17
卸売	4	3	4	4	15	5	4	5	3	17	5	4	5	4	18	4	4	5	4	17
他	1	1	1	5	8	-1	0	1	6	6	0	0	0	5	5	0	0	2	8	10
調整	-6	-4	-5	-4	-19	-6	-4	-7	-7	-24	-8	-3	-7	-6	-24	-5	-6	-6	-8	-25
合計	67	39	35	81	222	89	36	36	92	253	94	49	49	94	286	95	52	40	127	314

セグメント別売上高、営業利益推移

(億円)

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017E
売上高 (1)	化学	381 24.7%	369 24.8%	345 22.4%	355 21.7%	343 20.0%	343 19.4%	348 19.3%	355 18.8%
	機能	380 24.6%	340 22.9%	374 24.3%	428 26.1%	494 28.9%	518 29.3%	528 29.3%	576 30.5%
	農化	344 22.3%	338 22.7%	354 23.0%	391 23.9%	457 26.7%	475 26.9%	520 28.8%	563 29.8%
	医薬	96 6.2%	100 6.7%	127 8.3%	116 7.1%	88 5.1%	87 4.9%	80 4.4%	69 3.7%
	卸売	441 28.6%	448 30.1%	466 30.3%	507 31.0%	544 31.8%	556 31.4%	552 30.6%	615 32.5%
	他	270 17.5%	200 13.5%	212 13.8%	214 13.1%	209 12.2%	209 11.8%	240 13.3%	217 11.5%
	調整	-370 -24.0%	-309 -20.8%	-340 -22.1%	-374 -22.8%	-423 -24.7%	-419 -23.7%	-465 -25.8%	-505 -26.7%
合計	1,542 100%	1,486 100%	1,538 100%	1,637 100%	1,712 100%	1,769 100%	1,803 100%	1,890 100%	

営業利益 (2)	化学	24 12.1%	16 10.3%	19 9.7%	19 8.6%	19 7.5%	39 13.6%	38 12.1%	36 11.1%
	機能	79 39.9%	48 31.0%	72 36.9%	88 39.6%	120 47.4%	120 42.0%	125 39.8%	123 37.8%
	農化	48 24.2%	44 28.4%	50 25.6%	62 27.9%	92 36.4%	108 37.8%	132 42.0%	156 48.0%
	医薬	44 22.2%	46 29.7%	52 26.7%	49 22.1%	23 9.1%	20 7.0%	17 5.4%	9 2.8%
	卸売	14 7.1%	13 8.4%	14 7.2%	15 6.8%	17 6.7%	18 6.3%	17 5.4%	20 6.2%
	他	10 5.1%	3 1.9%	7 3.6%	8 3.6%	6 2.4%	5 1.7%	10 3.2%	5 1.5%
	調整	-21 -10.6%	-15 -9.7%	-19 -9.7%	-19 -8.6%	-24 -9.5%	-24 -8.4%	-25 -8.0%	-24 -7.4%
	合計	198 100%	155 100%	195 100%	222 100%	253 100%	286 100%	314 100%	325 100%

		2016
セグメント 資産 (4)	化学	261 11.3%
	機能	480 20.7%
	農化	556 24.0%
	医薬	102 4.4%
	卸売	198 8.5%
	他	107 4.6%
	調整	613 26.5%
合計	2,317 100%	

営業利益率 (3)	化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	10.1%
	機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	21.4%
	農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	27.7%
	医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	13.0%
	卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.3%
	他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.3%
	合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	17.2%

ROA (5) = (2)/(4)	化学	14.9%
	機能	25.0%
	農化	19.4%
	医薬	19.6%
	卸売	9.1%
	他	4.7%
	合計	12.3%

- (1)2010-2011 : 旧セグメント, 2012-2016E : 新セグメント
 (2)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

セグメント変更・・・2013年10月の組織変更に伴い、下記の通り変更

旧セグメント

セグメント	主要製品	
化学品	ファインケミカル	テピック メラミンシアヌレート 環境化学品(ハイライト、シアヌール酸等) ファインテック
	基礎化学品	メラミン 尿素、アトブルー アンモニア、硫酸、硝酸 高純度薬品
機能性材料	サンエバー ARC®(KrF、ArF、多層材料) OptiStack®(多層材料) NHC(タッチパネル用絶縁膜) マイクロレンズ 無機コロイド材料(スノーテックス、オルガノゾル等)	
農業化学品	農薬	除草剤 殺虫剤 殺菌剤
	動物用医薬品原薬	
医薬品	リハロ	
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	
調整額	新事業企画部を含む	



新セグメント

セグメント	主要製品	
化学品	ファインケミカル	テピック メラミンシアヌレート 環境化学品(ハイライト、シアヌール酸等)
	基礎化学品	メラミン 尿素、アトブルー アンモニア、硫酸、硝酸 高純度薬品
機能性材料	サンエバー ARC®(KrF、ArF) OptiStack®(多層材料) NHC(タッチパネル用絶縁膜) マイクロレンズ 無機コロイド材料(スノーテックス、オルガノゾル等)	
農業化学品	農薬	除草剤 殺虫剤 殺菌剤
	動物用医薬品原薬	
医薬品	リハロ ファインテック	
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	
調整額	新事業企画部を含む	

主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラミンシアヌレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アトフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌール酸： フール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アトフルー（ディーセル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエバー ARC®(KrF、ArF) OptiStack®(多層材料) NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド材料 スノーテックス オルガノシリカゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス</p>	<p>液晶配向材用ホリミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC) *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： シリコンウェハー・アルミ、ガラスハードディスク研磨剤、 特殊鋼板、脱硝触媒、電子機器、紙・繊維表面処理 有機溶媒分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルカ パーミット シウス ラウンドアップ アルテア</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト</p> <p>◆殺菌剤 パルサー、イカルガ、クレータム (チフルサミト) ライメイ</p> <p>◆動物薬 フルララネル(フラベクト)</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜</p> <p>芝、稲、ばれいしょ 野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬フラベクト原薬</p>
医薬	<p>リハロ ファインテック</p>	<p>高コレステロール血症治療薬 医薬品研究開発参加型事業</p>
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。